

授業科目名	介護福祉論			科目コード	W111-10				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	関 好博					
実務経験	介護老人保健施設と居宅介護サービスの経験をもとに、介護福祉士の資格取得に必要な基礎知識を中心に、現場で通用する実践的な介護知識・技術を解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	介護福祉論					
関連科目	障害者福祉論、生活支援技術								
資格等 取得との関連	介護職員初任者研修、介護福祉士受験資格、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	介護福祉士を取り巻く状況と介護福祉士誕生の背景、介護の対象となる高齢者や障害者の特性、介護実践の場、そして介護従事者の倫理を、テキストや資料を用いて説明します。介護の意義と役割及び専門性、自立の意味や自己決定、ICFの考え方の理解を目指します。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護の目的・理念、介護の社会化等、介護福祉に関連する重要な用語を説明できる。 2. 介護福祉士を取り巻く状況から介護問題の背景について説明できる。 3. 「尊厳を支える介護」や「自立に向けた介護」について、自分の意見を述べるができる。 								
キーワード	介護福祉、介護福祉士、介護福祉士及び介護福祉士法、介護の社会化、尊厳、自立支援								
テキスト・ 参考書等	介護福祉士養成講座編集委員会編 新・介護福祉士養成講座3「介護の基本」中央法規 介護職員初任者研修テキスト1 介護のしごと基礎 中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	わが国の介護福祉の歴史や関連する法律、および社会福祉士及び介護福祉士法制定の背景や介護の定義、義務規定など、介護福祉士を取り巻く状況に関する知識を有する。また、尊厳の保持や自立支援、ノーマライゼーションなど、介護の基礎理								
LO-2	介護従事者としての人間の尊厳とその人らしい自立した生活を支援するために必要な知識を有する								
LO-3	「尊厳の保持」や「自立支援」の概念を提示された事例に活用する判断力を有する。								
LO-4	本講義で習得した介護の基本となる知識について、新聞やTVなどの最新情報を自ら入手することにより、介護福祉の動向や社会状況への意欲や関心を有する。								
LO-5	介護福祉サービスを理解し、他者と学びの共有ができる								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		30			20			100
LO-1	50								50
LO-2			10						10
LO-3			20						20
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他 A については、授業への参加度合いを総合的に評価して点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護を必要とする人の生活を支えるしくみ 職務の理解 多様なサービスに理解	
	【予習】本シラバスを読み、本講義の全体を把握すること。参考図書介護福祉辞典「福祉」の用語を調べておく。	90分
	【復習】介護保険サービスの種類についてまとめる	90分
第2回	介護を必要とする人の生活を支えるしくみ 職務の理解 多様なサービスに理解	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp2～31を読んでくる	90分
	【復習】介護保険外サービス種類についてまとめる	90分
第3回	介護を必要とする人の生活を支えるしくみ 職務の理解 介護職の仕事内容と働く現場の理解	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp2～31を読んでくる	90分
	【復習】施設の生活の変化について学びを深める 生活を支える方法について考える	90分
第4回	介護を必要とする人の生活を支えるしくみ 職務の理解 介護職の仕事内容と働く現場の理解	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp2～31を読んでくる	90分
	【復習】施設の特性と、サービス内容、仕事の内容について理解を深める	90分
第5回	介護福祉の基本となる理念 介護の成り立ち、概念、定義	
	【予習】介護の基本 テキストp1～45を読んでくる	90分
	【復習】日本での介護における歴史についてノート、テキストを基に整理する。	90分
第6回	介護福祉の基本となる理念 社会福祉士及び介護福祉士法と介護の基本理念	
	【予習】介護の基本 テキストp47～57を読んでくる	90分
	【復習】介護の基本理念についてまとめる	90分
第7回	介護福祉の基本となる理念 職業倫理	
	【予習】介護の基本 テキストp110～134を読んでくる	90分
	【復習】介護職に求められる法的規定をまとめる	90分
第8回	自立に向けた介護 人権と尊厳を支える介護	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp44～48を読んでくる	90分
	【復習】生活とは何かを考え、支援のあり方や求められている効果を考え、まとめる 尊厳を支えるケアについて理解を深める	90分
第9回	自立に向けた介護 人権と尊厳を支える介護	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp49～55を読んでくる	90分
	【復習】利用者のもつ内的資源と外的資源について復習し、ストレングスモデルを理解し、ノーマライゼーションについて説明できるようにする	90分
第10回	自立に向けた介護 人権と尊厳を支える介護	
	【予習】介護の仕事の基礎テキストp56～59を読んでくる	90分
	【復習】ノーマライゼーションについて調べてまとめる	90分

第11回	自立に向けた介護 自立に向けた介護	
	【予習】介護の仕事の基礎テキスト p 68～75を読んでくる	90分
	【復習】介護が必要な人の「その人らしさ」を尊重するために介護職として配慮すべきことについてまとめる	90分
第12回	自立に向けた介護 自立に向けた介護	
	【予習】介護の仕事の基礎テキスト p 76～79を読んでくる 介護の基本 テキストP176-P197を読んでくる	90分
	【復習】生活場面における介護予防について考えまとめる	90分
第13回	介護の基本となる理念 介護職の役割、専門性と多職種との連携	
	【予習】介護支援専門員、サービス提供責任者、チームケアに含まれる職種を調べる	90分
	【復習】介護の専門性と介護環境の特徴について理解を深める	90分
第14回	介護における安全の確保とリスクマネジメント 安全の確保、リスクマネジメント	
	【予習】介護の仕事の基礎テキスト p 106～117を読んでくる	90分
	【復習】利用者の生活をを守る技術としてのリスクマネジメントの視点をワークシートにまとめる	90分
第15回	介護従事者の安全 介護従事者をを守る団体と法制度、環境の整備、心身の健康管理	
	【予習】介護従事者をを守る団体と法制度について調べる	90分
	【復習】1回目から15回目まで復習をする	90分

授業科目名	介護福祉論			科目コード	W111-11				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	関 好博					
実務経験	高岡市社会福祉協議会に17年間勤務。ボランティア活動や福祉教育、地域福祉活動の担当を歴任。事業部門一筋で積み重ねてきた経験と知識を、他の高齢者福祉論や障害者福祉論、ボランティア演習等でも生かしていきたい。								
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	介護福祉論		後継科目	介護従事者の安全、チームワークと多職種連携、感染予防とリスクマネジメント					
関連科目	介護予防論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護を必要とする人を理解し、専門職としての倫理、介護保険制度とケアマネジメント、安全の確保とリスクマネジメント、障害者福祉制度について知識と理解を深める。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護保険制度の概略を説明できる。 2. 介護従事者の倫理と安全について概説できる。 3. 介護が必要な人を支える仕組みについて概説できる。 								
キーワード	生活を支えるしくみ、介護従事者の倫理、安全の確保、リスクマネジメント、個人の権利								
テキスト・ 参考書等	最新 介護福祉士養成講座 3 「介護の基本」中央法規出版 最新 介護福祉士養成講座 4 「介護の基本」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護保険制度の概略、介護サービス提供の場の特徴、介護従事者の倫理、障害者福祉に関する基本的知識を有する。								
LO-2	学修の成果をレポートにまとめる力を有する。								
LO-3	「介護従事者の倫理」の概念を提示された事例に活用する判断力を有する。								
LO-4	新聞やTVなどを通して介護保険サービスに関する最新情報を自ら入手することにより、介護福祉への意欲や関心を有する。								
LO-5	介護を必要とする人を理解し、制度の概要がわかり、個人の権利を尊重する力を有する。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			100						100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			20						20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護を必要とする人の理解 生活の個性性と多様性、高齢者の生活	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】私たちの生活を構成する重要な要素と特性について理解する。 介護福祉を必要とする高齢者の暮らしの背景を探る。	90分
第2回	介護を必要とする人の理解 障害者の暮らしと「その人らしさ」「生活ニーズ」「生活のしづらさ」	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】「その人らしさ」とは何か、具体的事例をもとに考えをまとめる	90分
第3回	介護職の役割、専門性と他職種との連携	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】介護環境の特徴（施設と在宅の違い）、地域包括ケアの方向性、介護の専門性について考える 他職種協働の目的を利用者を支援する立場から専門的に考える	90分
第4回	介護福祉士の倫理 介護職の職業倫理	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】介護職が持つべき職業倫理と、日本介護福祉士会倫理綱領を参考に介護職に関わる倫理綱領を理解する	90分
第5回	介護福祉士の倫理 法令遵守 事例から考える	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】普遍的倫理判断の4つの視点について理解を深める	90分
第6回	介護福祉士の倫理	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】さまざまな介護の場面における倫理について考える	90分
第7回	介護における安全の確保とリスクマネジメント	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】利用者の生活を守る技術としてのリスクマネジメントの視点と、安全な生活をチームで守るしくみについて理解する	90分
第8回	介護従事者の安全 感染予防・腰痛予防・衛生管理	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】介護従事者の安全と健康についてまとめる	90分
第9回	介護保険制度	
	【予習】テキスト「介護初任者研修テキスト1」P136～P150まで読む	90分
	【復習】介護保険制度の背景を理解し、基本理念を概説できる	90分
第10回	介護保険制度	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】介護保険制度の流れを理解する	90分

第11回	介護保険制度	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】介護保険の財政、関係機関の機能と役割を理解する	90分
第12回	医療との連携とリハビリテーション	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】介護職と医療行為の実情と経過について理解し、介護職と看護職、リハビリテーションの役割、考え方を理解する。	90分
第13回	障害者福祉制度の概念としくみの基礎的理解	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】障害者福祉制度について理解を深める	90分
第14回	個人の人権を守る制度	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】日常生活自立支援法、成年後見制度、苦情解決の制度、個人情報保護に関する制度、消費者保護法について概説できる	90分
第15回	全体のまとめ	
	【予習】これまで学習してきた内容でわからない箇所，理解不足の箇所を把握すること。	90分
	【復習】これまで学習してきた内容をすべて復習し、ノートを見直す。	90分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W111-20				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	安川 友加					
実務経験	介護老人保健施設と居宅介護サービスの経験をもとに、介護福祉士の資格取得に必要な基礎知識を中心に、現場で通用する実践的な介護知識・技術を解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	生活支援技術					
関連科目	こころとからだのしくみ .								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目 介護職員初任者研修								
授業の概要	介護を必要とする人の状況に合わせた介護技術を実施できるよう、技術や知識について学習します。実際にモデルや実施者を体験して、相手にも自分にも安全で負担のない技術を習得していきます。適宜小テストを行い、技術や知識を確認していきます。								
学習目標	1.生活支援の目的・方針を理解する 2.介護の必要性や根拠を考え、理解することができる 3.「住環境の整備」「移動」「身じたく」「食事」「排泄」の意義・目的を理解し、自立に向けた基本的な介護技術を習得するとともに、福祉用具の機能を理解する。								
キーワード	生活支援技術、移動・移乗、身じたく、食事、排泄								
テキスト・ 参考書等	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術」中央法規出版 「介護職員初任者研修テキスト2」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護を必要とする人の多様な生活から自立に向けた生活支援技術と、相手に対する尊厳を重要視することの必要性を説明できる。								
LO-2	基本的介護技術の原理・原則を理解し自立に向けた支援を、利用者に具体的に説明して安全安楽に配慮した介護技術が実践できる。								
LO-3	利用者の状態に応じて必要な介護がどのようにすれば実践可能か、医学知識・生活習慣等から総合的に考えることができる。								
LO-4	講義・演習共に予習復習や課題提出に積極的に取り組み、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。								
LO-5	利用者の理解に努めるように実践して介護福祉士としての自覚に立ち、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50					50			100
LO-1	10					10			20
LO-2	10					10			20
LO-3	10					10			20
LO-4	10					10			20
LO-5	10					10			20
備考	その他 A については、実技試験								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	生活支援に共通する技術 ここちよい環境の視点	
	【予習】テキスト目次を確認する。	90分
	【復習】配布されたプリントを確認する。心地よい環境について考える	90分
第2回	生活支援に共通する技術 ここちよい環境の視点	
	【予習】心地よい環境について考える	90分
	【復習】心地よい環境について考えたことをまとめる	90分
第3回	自立に向けた住居環境の整備 心地よい睡眠環境、「ベッドメイキング」演習、腰痛予防について学びます。	
	【予習】自立に向けた住環境について考える。テキストを確認しておく	90分
	【復習】テキスト、資料の復習しておく。	90分
第4回	「ベッドメイキング」演習	
	【予習】ベッドメイキングの方法を確認しておく	90分
	【復習】ベッドメイキングのポイントをおさえ、二人で実施する練習をする。	90分
第5回	生活支援 ・生活とはどのようなことを考えます。また、ICFの考え方についての基礎を学びます。	
	【予習】テキストを確認する。	90分
	【復習】自己の生活を振り返り、また、家族との違いなどの要因を考える	90分
第6回	法的根拠に基づく介護	
	【予習】テキストを確認する。	90分
	【復習】自己の生活を振り返り、また、家族との違いなどの要因を考える	90分
第7回	生活と家事	
	【予習】家事の方法についてテキストで確認する	90分
	【復習】家事方法についてまとめる	90分
第8回	快適な住環境整備と介護と家事	
	【予習】家事の方法についてテキストで確認する	90分
	【復習】家事方法についてまとめる	90分
第9回	自立に向けた身じたくの介護 着る・装うことの意義・目的、被服の機能と個性について学びます。	
	【予習】高齢者の服装について調べる。	90分
	【復習】麻痺のある利用者の着替えの原則とポイントをおさえ、練習しておく。	90分
第10回	自立に向けた身じたくの介護 着脱介助の実際	
	【予習】高齢者のからだの動きを復習しておく。	90分
	【復習】麻痺のある利用者の着替えの原則とポイントをおさえ、練習しておく。	90分

第11回	衣服の着脱と介護の視点	
	【予習】麻痺のある利用者の着替えの原則とポイントをおさえ、練習しておく。	90分
	【復習】テキスト・プリントで復習し、まとめる	90分
第12回	洗面の意義・効果	
	【予習】介護が必要な人が、みじたくを整えることについてどのような意義があるのかを考える	90分
	【復習】テキスト・プリントで復習し、まとめる	90分
第13回	移動・移乗に関する基礎知識	
	【予習】テキストを確認する	90分
	【復習】高齢者への尊厳あるケアについて考える。	90分
第14回	自立に向けた移動の介護 基本的な身体動作、ベッド上での寝返り動作等	
	【予習】こころとからだのしくみのテキストを用意し読む。(骨格・筋肉)	90分
	【復習】高齢者のからだの動きを復習しておく。	90分
第15回	自立に向けた移動の介護 起き上がり・立ち上がりから歩行動作介助を学びます。	
	【予習】前回の復習。	90分
	【復習】ベッド上の動作の練習を、様々な体格の学生同士で練習してみる。	90分
第16回	自立に向けた移動の介護 車いすへの移乗・移動動作介助を安全安楽に配慮して学びます。	
	【予習】車いすの名称確認。高齢者の自然な動きの確認。	90分
	【復習】移乗介助の練習を、様々な体格の学生同士で練習してみる。	90分
第17回	自立に向けた移動の介護 車いすへの移乗・移動動作介助を安全安楽に配慮して学びます。	
	【予習】車いすの名称確認。高齢者の自然な動きの確認。	90分
	【復習】移乗介助の練習を、様々な体格の学生同士で練習してみる。	90分
第18回	自立に向けた移動の介護 杖歩行の支援技術、外出支援方法について学びます。	
	【予習】障害者の移動について機器等を調べる。	90分
	【復習】移動介助をまとめ整理しておく。	90分
第19回	自立に向けた移動の介護 杖歩行の支援技術、外出支援方法について学びます。	
	【予習】障害者の移動について機器等を調べる。	90分
	【復習】移動介助をまとめ整理しておく。	90分
第20回	自立に向けた食事の介護 食事の意義・目的、食事介助の実際	
	【予習】こころとからだのしくみのテキスト用意し読む。(口腔～消化器官)	90分
	【復習】食べるしくみと、おいしく食べることについて考える。	90分

第21回	自立に向けた食事の介護 座位姿勢での安全な食事介助、福祉用具の活用	
	【予習】介護食について調べる。	90分
	【復習】食事介助をまとめ整理しておく。	90分
第22回	自立に向けた食事の介護 食事の意義・目的、食事介助の実際	
	【予習】こことからだのしくみのテキスト用意し読む。(口腔～消化器官)	90分
	【復習】食べるしくみと、おいしく食べることについて考える。	90分
第23回	自立に向けた食事の介護 座位姿勢での安全な食事介助、福祉用具の活用	
	【予習】介護食について調べる。	90分
	【復習】食事介助をまとめ整理しておく。	90分
第24回	口腔ケア・誤嚥性肺炎の予防	
	【予習】安全に食事をするための工夫についてまとめておく	90分
	【復習】実技をととしての学びをまとめる	90分
第25回	排泄に関する基礎知識	
	【予習】こことからだのしくみのテキスト用意し読む。(尿・便)	90分
	【復習】高齢者への尊厳あるケアについて考える。	90分
第26回	自立に向けた排泄の介護 排泄の意義・目的、排泄介護の実際・トイレ誘導	
	【予習】こことからだのしくみのテキスト用意し読む。(尿・便)	90分
	【復習】高齢者への尊厳あるケアについて考える。	90分
第27回	課題事例による演習 前期末実技試験オリエンテーション	
	【予習】前期で学んだ技術を確認しておく	90分
	【復習】2人で実施、練習をする	90分
第28回	課題事例による演習	
	【予習】前期で学んだ技術を確認しておく	90分
	【復習】2人で実施、練習をする	90分
第29回	課題事例による演習	
	【予習】前期で学んだ技術を確認しておく	90分
	【復習】2人で実施、練習をする	90分
第30回	課題事例による演習	
	【予習】前期で学んだ技術を確認しておく	90分
	【復習】2人で実施、練習をする	90分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W111-21				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名						
実務経験	介護老人保健施設と居宅介護サービスの経験をもとに、介護福祉士の資格取得に必要な基礎知識を中心に、現場で通用する実践的な介護知識・技術を解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	生活支援技術		後継科目	生活支援技術、生活支援技術					
関連科目	こころとからだのしくみ 実習指導								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目 介護職員初任者研修								
授業の概要	介護を必要とする人の状況に合わせた介護技術を実施できるよう、技術や知識について学習します。実際にモデル実施者を体験して、相手にも自分にも安全で負担のない技術を習得していきます。適宜テストを行い、技術や知識を確認していきます。講義やグループワーク・演習をとおしてよりよい支援を考え実践できるように、学習していきます。								
学習目標	1.安全・安楽、プライバシーに配慮し、自立に向けた基本的な介助方法を習得する。2.介護の必要性や支援の根拠を考え、理解することができる。3.「身じたく」「清潔」「排泄」「睡眠」介護の意義・目的を理解し、自立を支援する基本的な介護技術を習得するとともに、福祉用具の機能を理解する。								
キーワード	入浴、清拭、ポータブルトイレ、電法								
テキスト・ 参考書等	最新 介護福祉士養成講座6「生活支援技術」中央法規出版 最新 介護福祉士養成講座7「生活支援技術」中央法規出版 「介護職員初任者研修テキスト2」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護を必要とする人の多様な生活から自立に向けた生活支援技術と、相手に対する尊厳を重要視することの必要性を説明できる。								
LO-2	基本的介護技術の原理・原則を理解し自立に向けた支援を、利用者に具体的に説明して安全安楽に配慮した介護技術が実践できる。								
LO-3	利用者の状態に応じて必要な介護がどのようにすれば実践可能か、医学知識・生活習慣等から総合的に考えることができる。								
LO-4	講義・演習共に予習復習や課題提出に積極的に取り組み、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。								
LO-5	利用者の理解に努めるように実践して介護福祉士としての自覚に立ち、クラスメートと共に責任感を持ち協力して臨むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50					50			100
LO-1	10					10			20
LO-2	10					10			20
LO-3	10					10			20
LO-4	10					10			20
LO-5	10					10			20
備考	その他 A については、実技試験								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	前期学習の振り返り 起居動作・移乗介護	
	【予習】前期の振り返り。配布プリントとテキストを確認する	90分
	【復習】振り返り、介護方法を身につけられるように練習をする	90分
第2回	前期学習の振り返り 衣服着脱介助・排泄介護	
	【予習】前期の振り返り。配布プリントとテキストを確認する	90分
	【復習】振り返り、介護方法を身につけられるように練習をする	90分
第3回	自立に向けた排泄の介護 排泄環境と用具の活用方法	
	【予習】テキストを確認する	90分
	【復習】プリントをまとめる	90分
第4回	自立に向けた排泄の介護 排泄環境と用具の活用方法	
	【予習】テキストを確認する	90分
	【復習】プリントをまとめる	90分
第5回	自立に向けた排泄の介護 排泄障害と日常生活 便秘予防	
	【予習】テキストを確認する	90分
	【復習】プリントをまとめる	90分
第6回	自立に向けた排泄の介護 排泄障害の対応方法とまとめ	
	【予習】テキストを確認する	90分
	【復習】プリントをまとめる	90分
第7回	自立に向けた清潔保持の介護 身体の清潔の意義とケアの方法について学びます。	
	【予習】テキスト・ファイル確認。	90分
	【復習】入浴事故についてレポート作成する。	90分
第8回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護 入浴介助の基本技術、安全・安楽について学びます。	
	【予習】入浴の物品準備。	90分
	【復習】入浴事故についてレポート作成する。	90分
第9回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護 入浴ケアの実際を体験します。	
	【予習】入浴による身体の変化とリスクについて考える。	90分
	【復習】入浴事故についてレポート作成する。	90分
第10回	自立に向けた入浴・清潔保持の介護 全身清拭と足浴、入浴事故の発表。	
	【予習】発表のまとめ。	90分
	【復習】入浴関係のまとめ	90分

第11回	部分清拭の意義・目的・介助方法	
	【予習】テキストを確認しておく	90分
	【復習】介助方法についてまとめる	90分
第12回	目・耳・鼻・爪の清潔	
	【予習】テキストを確認しておく	90分
	【復習】介助方法についてまとめる	90分
第13回	自立に向けた睡眠の介護 安楽のための技法、鼾法（1）	
	【予習】体調変化時の手当について考える。	90分
	【復習】観察の復習（バイタルサインなど）	90分
第14回	自立に向けた睡眠の介護 安楽のための技法、鼾法（2）	
	【予習】体調変化時の手当について考える。	90分
	【復習】観察の復習（バイタルサインなど）	90分
第15回	自立に向けた睡眠の介護 安楽のための技法、安楽体位・褥瘡予防	
	【予習】テキスト確認	90分
	【復習】安楽体位についてまとめる	90分
第16回	人生最終段階における介護	
	【予習】テキストを確認しておく	90分
	【復習】人生の最終段階における介護についてまとめる	90分
第17回	自立に向けた介護 事例学習	
	【予習】前期・後期の振り返り。	90分
	【復習】 コミュニケーション 技術の手技 根拠 安全の配慮 自立支援の視点で振り返り、チェックする。	90分
第18回	自立に向けた介護 事例学習	
	【予習】前期・後期の振り返り。	90分
	【復習】 コミュニケーション 技術の手技 根拠 安全の配慮 自立支援の視点で振り返り、チェックする。	90分
第19回	自立に向けた介護 事例学習	
	【予習】前期・後期の振り返り。	90分
	【復習】 コミュニケーション 技術の手技 根拠 安全の配慮 自立支援の視点で振り返り、チェックする。	90分
第20回	自立に向けた介護 事例学習	
	【予習】前期・後期の振り返り。	90分
	【復習】 コミュニケーション 技術の手技 根拠 安全の配慮 自立支援の視点で振り返り、チェックする。	90分

第21回	課題事例による介護技術の評価	
	【予習】課題事例を復習し、練習する	90分
	【復習】 コミュニケーション 技術の手技 根拠 安全の配慮 自立支援の視点で振り返り、チェックする。	90分
第22回	課題事例による介護技術の評価	
	【予習】課題事例を復習し、練習する	90分
	【復習】 コミュニケーション 技術の手技 根拠 安全の配慮 自立支援の視点で振り返り、チェックする。	90分
第23回	快適な住環境整備と介護 福祉用具体験	
	【予習】福祉用具について調べる	90分
	【復習】体験した福祉用具についてまとめる	90分
第24回	快適な住環境整備と介護 福祉用具体験	
	【予習】福祉用具について調べる	90分
	【復習】体験した福祉用具についてまとめる	90分
第25回	課題事例	
	【予習】前期・後期の振り返り	90分
	【復習】課題事例を練習する	90分
第26回	課題事例	
	【予習】前期・後期の振り返り	90分
	【復習】課題事例を練習する	90分
第27回	自立に向けた介護 福祉用具の活用	
	【予習】前期・後期の振り返り。	90分
	【復習】 コミュニケーション 技術の手技 根拠 安全の配慮 自立支援の視点で振り返り、チェックする。	90分
第28回	自立に向けた介護 福祉用具の活用	
	【予習】前期・後期の振り返り。	90分
	【復習】 コミュニケーション 技術の手技 根拠 安全の配慮 自立支援の視点で振り返り、チェックする。	90分
第29回	自立に向けた介護 福祉用具の活用	
	【予習】前期・後期の振り返り。	90分
	【復習】 コミュニケーション 技術の手技 根拠 安全の配慮 自立支援の視点で振り返り、チェックする。	90分
第30回	自立に向けた介護 福祉用具の活用	
	【予習】前期・後期の振り返り。	90分
	【復習】 コミュニケーション 技術の手技 根拠 安全の配慮 自立支援の視点で振り返り、チェックする。	90分

授業科目名	生活支援技術			科目コード	W111-23				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	大掛 恵美子					
実務経験	管理栄養士として、病院および併設社会福祉施設において実務経験あり								
開講時期	1年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	医学一般、生活支援技術、こころとからだのしくみ								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	利用者が生活の中で求めている幸せとは何かを的確に捉える力と、個性のある自立・自律や社会参加に向けた生活支援ができるようになることを目指す。自立に向けた家事の介助の技法、家事に参加することを支える介護を学習する。行事食・郷土食などの伝統食やマナーなど生活文化についても学習し、健やかな人生を送るための適正な食生活のあり方に関する知識の習得する。								
学習目標	栄養バランスのとれた食事、高齢者の嗜好に合った食べやすい食事、生活習慣病を予防できる食事等、命をつなぎ、QOLの向上に欠く事のできない食の重要性を認識し、臨機応変に対応できる介護実践力を養うこと。								
キーワード	健康 食生活 生活習慣病 介護食								
テキスト・ 参考書等	介護福祉士養成講座編集委員会：『最新 介護福祉士養成講座6 生活支援技術』、第5章 自立に向けた家事の介護 (pp.216-259)中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	栄養的にバランスのとれた食生活を営むために、食品のもつ特性について理解し、正しく答えることができる。								
LO-2	ニーズを踏まえ、個性に応じた安全でおいしい食事作りができる。								
LO-3	高齢者・障害者の食におけるニーズを把握し、対応を考えることができる。								
LO-4	健康や食について関心を持ち、自分自身も適正な食生活に努めている。								
LO-5	グループのメンバーと協調性を育み、不得意とする他者へのサポートができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	10	20			20			100
LO-1	50	10							60
LO-2						10			10
LO-3			10						10
LO-4			10						10
LO-5						10			10
備考	グループワーク、実習あり。答案やレポートのフィードバック(解説など)をする その他：Aは授業時の積極性、質問や授業態度などを総合して評価する								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業のねらい、食事の意義と目的、食生活の現状と問題点について講義する。	
	【予習】 日常の食事をする意義・目的について考えてみる。また、自分の食生活を振り返ってみる。	15分
	【復習】 自分の食生活について見直しを行い、講義から課題を見出し解決方法を考える。	30分
第2回	身体の機能と栄養素の役割について講義する。	
	【予習】 医学一般のテキストをもとに、身体の機能について復習を行い、要点を確認しておく。	15分
	【復習】 ところとからだのテキストをもとに栄養素の役割についてまとめておく。	30分
第3回	必要栄養量と食品の分類、献立作成、基本の調理技術について講義する。	
	【予習】 日頃、摂取している食品について、過不足がないか調べてみる。	15分
	【復習】 食品の特性と調理との関係を把握する。	30分
第4回	調理実習（1）基本調理法（炊飯、出しのとり方等） / 「日本料理」	
	【予習】 プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	15分
	【復習】 実習した調理の要点をまとめ、実習後の課題を明らかにする。	30分
第5回	調理実習（2）「中国料理」	
	【予習】 プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	15分
	【復習】 実習した調理の要点をまとめ、実習後の課題を明らかにする。	30分
第6回	食品の加工と保存、食品の安全性について講義する。	
	【予習】 食品についている表示やマークについて調べてみる。	15分
	【復習】 食品の消費期限、賞味期限の正しい意味を理解し、冷蔵庫の庫内にある食品で確認する。	30分
第7回	調理実習（3）「西洋料理」マカロニグラタン 他	
	【予習】 プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	15分
	【復習】 実習した調理の要点をまとめ、実習後の課題を明らかにする。	30分
第8回	食事と生活習慣病の関係を理解する。	
	【予習】 食事と生活習慣病の関連する病気を調べる。	15分
	【復習】 生活習慣病を予防するための食事のポイントをまとめる。	30分
第9回	調理実習（4）生活習慣病予防のための食事	
	【予習】 プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	15分
	【復習】 実習した調理の要点をまとめ、実習後の課題を明らかにする。	30分
第10回	高齢者・障害者の食生活のあり方を理解する。咀嚼・嚥下機能と食事について理解する。	
	【予習】 老化に伴う身体面や心理面からの機能低下の状態や、障害によって生じる食事摂取の不都合さについて把握する。咀嚼・嚥下について調べる。	15分
	【復習】 高齢者・障害者がおいしく食べられる調理の手法をまとめる。	30分

第11回	調理実習(5)「介護食」 嚥下調整食を調理する	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	15分
	【復習】実習した調理の要点をまとめ、実習後の課題を明らかにする。 食事介護における配慮・注意点を食前・中・後にわけまとめる。	30分
第12回	調理実習(6)「行事食」「郷土料理」 正月料理を調理する	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	15分
	【復習】実習した調理の要点をまとめ、実習後の課題を明らかにする。家庭の正月料理についてまとめる。	30分
第13回	高齢者に適した食事についてグループで献立作成・検討する	
	【予習】高齢者にとって好ましい料理は何か考え、レシピを探す。バランスの良い食事について考える。食材の価格を調査する。	15分
	【復習】検討した献立を調理し、食材費、量、作業時間等を確認する。献立レポートを作成する。	30分
第14回	調理実習(7)高齢者のための食事	
	【予習】プリントを事前に把握し、役割分担を決め、担当部分を確認・段取りを考えておく。	15分
	【復習】実習した調理の要点をまとめ、実習後の課題を明らかにする。	30分
第15回	調理実習(8)「自由献立」高齢者のための献立調理	
	【予習】グループで材料の準備、作成の流れを確認する。発表等の練習をする。	15分
	【復習】課題レポートを作成する。	30分

授業科目名	コミュニケーション技術			科目コード	W111-30				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	関 好博					
実務経験	高岡市社会福祉協議会に17年間勤務。ボランティア活動や福祉教育、地域福祉活動の担当を歴任。事業部門一筋で積み重ねてきた経験と知識を、他の高齢者福祉論や障害者福祉論、ボランティア演習等でも生かしていきたい。								
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	介護過程					
関連科目	コミュニケーション技術 (手話・点字)								
資格等 取得との関連	介護職員初任者研修、介護福祉士指定科目								
授業の概要	人間関係とコミュニケーションで学ぶコミュニケーションの基礎的な知識を基盤に、本人及び家族とのよりよい関係性の構築や障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的な知識・技術を習得する。介護におけるチームのコミュニケーションについて、情報共有の意義、活用、管理などに関する基本知識・技術を習得する。								
学習目標	対象者との支援関係の構築やチームケアを実践するためのコミュニケーションの意義や技法を学び、介護実践に必要なコミュニケーション能力を養う学習とする。								
キーワード	チームのコミュニケーション、障害の特性に応じたコミュニケーション、家族とのコミュニケーション、介護を必要とする人とのコミュニケーション								
テキスト・ 参考書等	最新 介護福祉士養成講座 5 コミュニケーション技術								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】対象者との支援関係の構築やチームケアを実践するためのコミュニケーションの意義や技法を理解している。								
LO-2	【技能】様々な場面に必要とされるコミュニケーション技術や、チームケアを構築するためのコミュニケーションの基礎的な技術を備えている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】コミュニケーション技術をとおり、介護実践に必要な観察力・判断力及び思考力を備えている。								
LO-4	【関心・意欲・態度】介護実践に必要なコミュニケーション実践に関心と意欲を持ち、専門職としての態度を備えている。								
LO-5	【人間性・社会性】対象となる人の能力を引き出し、本人主体の生活を地域で継続するための能力を備えている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	20								20
LO-2	20								20
LO-3	20								20
LO-4	20								20
LO-5	20								20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護におけるコミュニケーションとは、介護におけるコミュニケーションの対象	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめてみる。	15分
第2回	援助関係とコミュニケーション、コミュニケーションの役割	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめておく。	15分
第3回	コミュニケーション態度に関する基本技術、	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめる。	15分
第4回	言語・非言語・準言語コミュニケーションの基本	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめておく。	60分
第5回	目的別のコミュニケーション技術	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめておく。	15分
第6回	集団におけるコミュニケーション技術	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめる。	60分
第7回	対象者の特性に応じたコミュニケーション	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめる。	15分
第8回	会議・議事進行・説明の技術、情報の活用と管理のための技術	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめる。	15分
第9回	事例検討に関する技術、事例検討	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめる。	15分
第10回	介護におけるコミュニケーションの基本	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業の振り返りをノートにまとめる。	15分

第11回	障害の特性に応じたコミュニケーション	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	15分
第12回	介護におけるチームのコミュニケーション1（記録の技術）	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	15分
第13回	介護におけるチームコミュニケーション2（報告・連絡・相談の技術）	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	15分
第14回	家族とのコミュニケーション1（家族との関係づくり、家族への助言・指導・調整）（意欲を引き出す）	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	15分
第15回	家族とのコミュニケーション2（家族関係と介護ストレスへの対応）（意向を調整する技法ほか）	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	30分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	15分

授業科目名	コミュニケーション技術			科目コード	W111-31				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	定塚 剛成 山崎 清之 関 好博					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	障害者ケア論 ・ 生活支援技術 介護実習								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	1. 聴覚及び言語障害者とのコミュニケーション介護の実際を学びます。 2. 視覚障害者とのコミュニケーション介護の実際を学びます。								
学習目標	1. 手話 ・基本的な手話技術の習得 ・障害のとらえ方の理解 ・聞こえないことの不便や聴覚障害者のおかれている社会環境、関連制度等の理解								
キーワード	1. 手話 聴覚障害者 点字 視覚障害者 コミュニケーション								
テキスト・ 参考書等	1. 「新・手話教室 入門」 - 厚生労働省手話奉仕員養成講座入門課程対応 - 2. 「初めての点訳」 特定非営利活動法人全国視覚障害者情報提供施設協会								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	(知識・理解) 障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的な知識を理解する。								
LO-2	(技能) 障害の特性に応じたコミュニケーションの基本的技術が身につく。								
LO-3	(思考力・判断力・表現力) その場そのとき、相手に応じて求められるコミュニケーションのあり方を考えられる。								
LO-4	(関心・意欲・態度) 手話や点字の習得に意欲と熱意を持ち、障害の理解にも関心を高めることができる。								
LO-5	(人間性・社会性) 手話や点字の技術習得を通して、障害者の暮らしに思いを馳せることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	100								100
LO-2									
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考	1.手話 ・テキストをもとに、ほぼ毎回ビデオを使用して学習を進めます ・ネイティブスピーカー(ろう者)に、2回程度参加してもらいます ・必要に応じて、グループ等に分かれて進めます * 授業態度・意欲(25%程度)・節目ごとのレポート(30%程度)・修了試験(45%)								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 点字の概要、点字と墨字、点字の組み立て・特徴、 点字器の種類・扱い方	
	【予習】シラバス確認	45分
	【復習】点字の組み立てを振り返る	45分
第2回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 視覚障害者の状況 点字の歴史	
	【予習】テキストを参照する	45分
	【復習】視覚障害者について、テキストノートから振り返る	45分
第3回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 点字の書き方の実際(1) ・点字を書く器具 点字を書く時のポイント	
	【予習】	45分
	【復習】本日学習した点字の書き方、読み方を振り返る	45分
第4回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 点字の書き方の実際(2) 点字の標記 ・語の書き表し方(かな使い、数字、アルファベット)	
	【予習】	45分
	【復習】点字の読み方を振り返る	45分
第5回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 点字の書き方の実際(3) ・分かち書 (文節分かち書、複合語、固有名詞)	
	【予習】	45分
	【復習】点字の表記について振り返る	45分
第6回	2. 点字	
	【予習】	45分
	【復習】点字の表記について振り返る	45分
第7回	2. 点字 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション	
	【予習】	45分
	【復習】点字の表記について振り返る 視覚障害者のガイドについてテキスト等で見直す	45分
第8回	2. 点字 まとめ 試験 (点訳 墨訳 作文と点字についての設問)	
	【予習】点字の組み立てから、点字の表記について復習しておく 視覚障害者と点字の歴史、概要をまとめておく	45分
	【復習】	45分
第9回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 聞こえないってどんなことか 言葉を使わないで伝えてみよう	
	【予習】	45分
	【復習】	45分
第10回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ろう教育	
	【予習】	45分
	【復習】	45分

第11回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 指文字を覚えよう	
	【予習】	45分
	【復習】	45分
第12回	1. 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ろうの人と話そう	
	【予習】	45分
	【復習】	45分
第13回	1 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ろう者の生活 家族を紹介しよう	
	【予習】	45分
	【復習】	45分
第14回	1 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション 趣味を表してみよう・誕生日を表してみよう	
	【予習】	45分
	【復習】	45分
第15回	1 手話 介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ろうの人と話をしてみよう	
	【予習】	45分
	【復習】	45分

授業科目名	介護過程			科目コード	W111-40				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵					
実務経験	介護福祉士・介護支援専門員としての勤務経験を基に、介護福祉施設等での実習の具体的な内容を指導するとともに、実習指導者と連携しながら実習に必要な技術や心構え、マナー、記録等について一人一人の学生を指導する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	介護過程					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	利用者の立場に近づき、利用者が求めている支援を提供する視点に立ち、生きてきた時間と生活からその人を理解していくことを目的に、広い視点から学習を進めていきます。介護過程という思考過程の基本を学習します。								
学習目標	人間は生きている環境が違い、考え方や生き方は様々であることを客観的に捉えることができる。個々のニーズとは何かを知り、「分析的思考」と「総合的思考」を養います。								
キーワード	生活 幸せ 情報収集 アセスメント ICF								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座9「介護過程」、「介護職員初認者研修テキスト2」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	ICFの概要や考え方を理解することができる。								
LO-2	一人の人間の全体像を様々な視点から捉え、それに関連することを分析する能力を習得する。								
LO-3	これまでの生活から学んだ知識を介護過程の中で反映できる能力を十分に有する。								
LO-4	介護過程を展開するために必要な情報や知識を積極的に修得しようと意欲的に行動することができる。								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を十分身につけている。円滑なコミュニケーションをとり、他者の意見を尊重しながら、グループの意見をまとめ、発表することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		20		20				100
LO-1	30								30
LO-2	10		10						20
LO-3	20		10						30
LO-4					10				10
LO-5					10				10
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護過程の意義 介護過程とは プロセス	
	【予習】シラバスを読み、科目の内容や目的を抑える	60分
	【復習】本時の資料、ノートを見て振り返る。	120分
第2回	介護過程とチームアプローチ	
	【予習】初任者研修テキスト P321～P323まで読んでくる	60分
	【復習】本時の資料、ノートを見て振り返る。	120分
第3回	介護過程の意義 グループワーク 問題を解決していく過程が理解できる。(1) コンセンサスゲーム 課題を通してグループワークをおこなう。グループ発表	
	【予習】「コンセンサスゲーム」について調べる	60分
	【復習】グループで検討した意見をワークシートから振り返る。	120分
第4回	介護過程の意義 グループワーク 物事を多面的な視点でとらえる グループでカテゴリ分けを行い、根拠を明確にして発表する	
	【予習】ペットボトルの準備 「ペットボトル」について考える	90分
	【復習】テキスト、ノートから学習したことを振り返る	90分
第5回	介護過程の意義 相手の立場にたって物事を考える 事例1について考える。個人ワーク	
	【予習】相手の立場になって考えることとは、どのようなことか 具体的に考える	90分
	【復習】みかこさんの生き方と自分の生き方を比較し、生きることの支援について考えをまとめる	90分
第6回	介護過程の意義 事例1についてグループワークをおこない、考えられる様々な方法を話し合う。グループ発表をおこなう。	
	【予習】前回の事例1のワークシートを見ておく	90分
	【復習】他のグループで発表された意見をワークシートを見て振り返る。	90分
第7回	介護過程の意義 介護過程の意義・目的・展開について学習する	
	【予習】テキストP12～P15を読んでおく	60分
	【復習】本時のノートとテキスト範囲を読み振り返る。	120分
第8回	介護過程の基礎的理解(1) 介護過程の展開	
	【予習】テキストP13～18を読んでおく	90分
	【復習】本時のノート、資料、テキスト範囲から振り返る。	90分
第9回	介護過程の基礎的理解(2) 介護過程とチームアプローチ	
	【予習】テキストP18～21を読んでおく	60分
	【復習】本時のノート、資料、テキスト範囲から振り返る。	120分
第10回	介護過程の基礎的理解(3) 介護過程とチームアプローチ	
	【予習】テキストP23～32を読んでおく	60分
	【復習】ニーズとは何か本時のノートを見て振り返る。	120分

第11回	介護過程の展開 介護過程におけるニーズ ニーズを見つける視点について分かる。マズローの基本的欲求がわかる。	
	【予習】テキストP26～P43を読んでおく	60分
	【復習】本時のノート、テキスト範囲からニーズについて振り返る。	120分
第12回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント(1) 介護過程の構成要素とアセスメントについて理解する。ICFの構成要素についてわかる	
	【予習】テキストP13～P14 59～61を読んでおく	90分
	【復習】アセスメントについてノート及びテキスト範囲から振り返る。	90分
第13回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント(2) アセスメント情報収集について分かる。身近な人の事例課題2をICFの視点でワークシートに記述する(自己ワーク)	
	【予習】テキストP61～P62を読んでおく	90分
	【復習】本時の課題から事実を情報収集することを振り返る。	90分
第14回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント(3) 身近な事例2について情報収集をICFの視点を用いたワークシートに記述したものをを用いて発表をし、他グループからの意見を聞く。	
	【予習】テキストP50をよく読む。	90分
	【復習】グループで情報収集した内容を見直してみる。	90分
第15回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント(4) グループで集めた情報をアセスメントする。既定のシートにグループから出た情報を記述し、アセスメントを行う。グループ発表	
	【予習】グループで情報収集した内容をテキストP50を参考に見直し、発表の準備をしておく。	90分
	【復習】他のグループ発表を聞いて、情報収集について振り返る。	90分

授業科目名	介護過程			科目コード	W111-41				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵					
実務経験	介護福祉士・介護支援専門員としての勤務経験を基に、介護福祉施設等での実習の具体的な内容を指導するとともに、実習指導者と連携しながら実習に必要な技術や心構え、マナー、記録等について一人一人の学生を指導する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	介護過程		後継科目	介護過程					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	様々な利用者の生活場面とその環境から適切な支援ができるよう、習得した知識や経験を介護過程の展開に活用していきます。 介護計画実習での情報収集ができるよう事例をとおして記録用紙の書き方を学びます。 専門職として必要な知識・技術を身につけ、多職種との連携を理解します。								
学習目標	情報の収集、解釈・分析、アセスメントの意味を理解し、利用者個々のニーズを把握する能力を養います。 また、介護計画を立案するために必要な具体的な情報収集能力を身につけ、介護計画を立案する能力を養います。								
キーワード	情報収集 アセスメント ICF ニーズ 本人の思い								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座9介護過程 中央法規出版 2021年度「介護実習の手引き」 富山短期大学								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	情報収集の必要性を理解する能力を有する。情報収集の必要性と方法について十分理解をしている。								
LO-2	収集した情報をICFシートに分類し、整理する能力を十分に有する。								
LO-3	「介護福祉論」「生活支援技術」「こころとからだのしくみ」等の科目で学んだ知識を介護過程の中で反映できる能力を十分に有する。								
LO-4	介護過程を展開（情報収集と計画立案）するために必要な情報や知識を積極的に修得しようと意欲的に行動することができる。								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につけている。 円滑なコミュニケーションのとり方の基本が身につけており、他者の意見を尊重しながら、グループの意見をまとめ、発表								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80		20				100
LO-1			30						30
LO-2			20						20
LO-3			30						30
LO-4					10				10
LO-5					10				10
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント情報収集 介護過程の構成要素を振り返る 各自が基礎実習で、かかわった利用者についてどのようなニーズがあったか考える ワークシートに記述する	
	【予習】介護過程の構成要素、ICFの視点を見ておく。	60分
	【復習】基礎実習で自分がかかわった利用者の情報について振り返る。	120分
第2回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント情報収集 グループワーク 各自がかかわった利用者の状況、必要な情報は何か話し合いワークシートにまとめる。	
	【予習】学習範囲について、テキストを見直す。	60分
	【復習】グループで検討した意見を振り返る。	120分
第3回	介護過程の展開 介護過程におけるアセスメント情報収集 グループでまとめ意見を発表する。	
	【予習】学習範囲をテキストを見て読んでおく。	60分
	【復習】他のグループの意見を聞いて振り返る。	120分
第4回	介護過程の展開 事例学習1 - ICFの視点で必要な情報は何か考えワークシートに記述する。	
	【予習】前回と同じテキストのページを読み確認する。生活支援技術のテキストを読む	60分
	【復習】ワークシートの記述内容をテキストを見て振り返る。	120分
第5回	介護過程の展開 事例学習1 - グループワーク グループで意見交換し、ICFの視点をまとめる	
	【予習】生活支援技術のテキストで必要なところを見て確認しておく	60分
	【復習】グループでまとめた意見を振り返っておく。	120分
第6回	介護過程の展開 事例学習1 - グループ発表とまとめ	
	【予習】テキストの確認 生活支援技術のテキスト確認	60分
	【復習】他のグループの発表を聞いて振り返り、情報収集についてICFの視点をまとめておく。	120分
第7回	介護過程の実践的展開 事例学習2 - グループワーク ICFの視点で意見交換する。	
	【予習】授業日までに、事例2の必要な情報収集をICFの視点のワークシートに記述しておく。	60分
	【復習】グループで意見交換した内容を振り返る。生活支援技術のテキストを読み確認しておく。	120分
第8回	介護過程の実践的展開 事例学習2 について、グループのまとめを発表する	
	【予習】テキストを確認する。生活支援技術のテキスト確認する。発表する内容を確認しておく。	60分
	【復習】他のグループの意見を聞き振り返り、事例2における情報収集についてまとめておく。	120分
第9回	介護過程の実践的展開 事例学習1・2のまとめ 実際の情報収集の場面を体験し、気付いたことを発表する。	
	【予習】事例1と2におけるICFの視点で、グループワークしたワークシートを見直す。	60分
	【復習】実際の情報収集の場面から気付いたことをまとめておく。	120分
第10回	介護過程の実践的展開 介護計画実習に向けて、実際に用いる記録用紙(D1-3)の記述方法と留意点について理解する。	
	【予習】本学の平成27年度実習の手引きP37-39を読んでおく。	60分
	【復習】説明を受けたことの留意点、記述方法について手引きP51-53を読み振り返る。	120分

第11回	介護過程の実践的展開 事例学習3 Mさんの事例について説明後、実習記録D1～3に記述する。	
	【予習】手引きP37～39、51～53を確認しておく。	60分
	【復習】手引きP37～39を参照しながら見直し、Mさんの事例D1～3を完成させておく	120分
第12回	介護過程の実践的展開 事例学習3 Mさんの事例 情報収集したD1～3の内容について気がついたこと、迷ったところなどグループ話し合う。教員が提示したMさんのD1～3を見て理解できる。	
	【予習】手引きP37～39を確認する。	60分
	【復習】Tさんの事例からD1～3の記述について振り返る。	120分
第13回	介護過程の実践的展開 事例学習3 Mさんの情報からアセスメント(解釈、意味づけ、統合)を実践し、課題の発見、分析を理解する	
	【予習】実習の手引きP37～41を見てくる。	60分
	【復習】テキストP97～108を事例をよく読む。	120分
第14回	介護過程の実践的展開 事例学習3 Mさんの事例について、得られた情報から実習記録E-1表を記述する。	
	【予習】手引きP37～39、51～53を見直す。	60分
	【復習】事例4 Mさんの情報を確認してE-1表を完成させる	120分
第15回	介護過程の実践的展開 事例学習3 Mさんの介護上の課題を考える。グループで、E-1表から意見をだし、E-2表を完成させる。	
	【予習】テキストP66～108、手引きP37～39、51～53を読み直す。	60分
	【復習】計画実習まで、手引きを見直し情報収集についてまとめておく。	120分

授業科目名	実習指導			科目コード	W111-50				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵 中島 眞由美 関 好博 小椋 一也					
実務経験	介護福祉士・介護支援専門員としての勤務経験を基に、介護福祉施設等での実習の具体的な内容を指導するとともに、実習指導者と連携しながら実習に必要な技術や心構え、マナー、記録等について一人一人の学生を指導する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	基礎実習					
関連科目									
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	介護実習の意義・目的、介護実習施設の概要を講義やグループでの調査等から学びます。基礎実習に向けての課題や目標、考えが明確になり、実習記録の書き方などをグループワークや個別指導で習得します。基本的態度を理解し、利用者とは接することができるようにロールプレイングを実践します。								
学習目標	介護実習の意義・目的、介護実習施設の概要を理解できる。基礎実習に向けての課題や目標、考えが明確になり、実習記録の書き方などを習得する。基本的態度を理解し、利用者とは接することができる。								
キーワード	基礎実習、施設介護、居宅介護、コミュニケーション、生活支援、介護記録								
テキスト・ 参考書等	令和4年度 介護実習の手引き 最新 介護福祉士養成講座10「介護総合演習・介護実習」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	基礎実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を理解できる。 利用者の生活と施設・訪問介護の特色を理解し、説明できる。								
LO-2	利用者・家族、職員に対する実習生として適切にかかわる基本姿勢が習得できる。 各種記録の目的を理解し、期限内に提出できる。								
LO-3	課題の調査に積極的取り組み、自己の考えをまとめることができる。								
LO-4	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し積極的に進行・サポートできる。								
LO-5	介護実習生としての自覚を持ち、相手の立場を理解した適切なマナーがとれる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		20		10	20			100
LO-1	50								50
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4					10				10
LO-5						20			20
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワークでの活動、授業への参加態度に点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護実習報告会に参加する	
	【予習】介護実習についてイメージする	90分
	【復習】感想・気づきを書く	90分
第2回	介護実習の基本理解 介護実習の意義と目的 自宅近隣の実習施設調査について	
	【予習】テキストP6～P22まで読む	90分
	【復習】介護総合演習として、実習指導で学びたいことをまとめる	90分
第3回	実習施設の理解 高齢者介護施設の概要と生活について	
	【予習】自宅近隣の施設について調べる	90分
	【復習】各種施設の生活の特徴を整理する	90分
第4回	実習施設の理解 障害児・者施設の概要と生活について	
	【予習】地域の施設について 調べる	90分
	【復習】調査したことを報告できるようにまとめる	90分
第5回	実習施設の理解 在宅系サービスについて	
	【予習】在住地域の施設を調べる	90分
	【復習】実習施設の希望を考え、提出できるようにする	90分
第6回	介護実習の方法 基礎実習の目的・目標と実習の流れ(-1) (-2)	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】実習に向けて具体的な取り組みをイメージする	90分
第7回	介護実習の方法 到達目標を理解して、実習の課題の整理	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】実習の手引きを読む	90分
第8回	介護実習の方法 到達目標を達成するための取り組みについて考える	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】意見交換した内容を振り返り、まとめて課題を提出する	90分
第9回	介護実習における記録 日々の活動記録について	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】課題を作成し提出する	90分
第10回	介護実習における記録 「利用者とのかかわりの記録」について	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】課題を作成し提出する	90分

第11回	介護実習に対する準備 実習の心得・カンファレンスについて	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】実習の手引きを読む	90分
第12回	介護実習に対する準備 基本的な接遇と感染症予防について	
	【予習】一般的なマナーを調べる	90分
	【復習】自己行動を振り返り、マナーと感染予防の実践を生活に取り入れる	90分
第13回	オリエンテーション 実習施設への事前訪問・諸注意	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】施設に電話をかけたアポイントメントを取り、報告する	90分
第14回	特別講義 「居宅・施設介護における介護と介護職員の役割・実習生に望むもの」	
	【予習】実習の手引きを確認し読む	90分
	【復習】A-1表作成	90分
第15回	実習スケジュール、評価について	
	【予習】実習の手引きを読む	90分
	【復習】実習に必要な物品準備、試験に向けての復習	90分

授業科目名	実習指導			科目コード	W111-51				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵 中島 真由美 関 好博 小椋 一也					
実務経験	介護福祉士・介護支援専門員としての勤務経験を基に、介護福祉施設等での実習の具体的な内容を指導するとともに、実習指導者と連携しながら実習に必要な技術や心構え、マナー、記録等について一人一人の学生を指導する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	実習指導、介護過程、介護福祉論、生活支援技術、コミュニケーション論、コミュニケー		後継科目	実習指導、介護過程実習					
関連科目	介護過程、生活支援技術、介護計画実習、介護福祉論								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	基礎実習を振り返り、獲得した知識や技術を整理し、実習課題の自己到達度を評価し、新たな学習課題を明確にします。また、グループワーク等により情報・体験を共有化を図り学びを深めます。介護計画実習に向けて、介護過程の展開を基に、介護計画立案に必要な情報収集に関する知識を習得します。								
学習目標	基礎実習を振り返り、自己の課題を明確にできる。介護実習の意義・目的、介護実習施設の概要を理解できる。介護計画実習に向けての目標を理解し、実習記録の書き方や利用者理解の方法が習得できる。								
キーワード	介護計画実習、ICFの視点、情報収集、レクリエーション、時差勤務								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座10介護総合演習・介護実習 富山短期大学 健康福祉学科 「介護実習の手引き」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護計画実習の意義と目的を理解し、実習生として必要な資質を理解できる。利用者の全体像をICFの視点から捉え、生活を説明できる。								
LO-2	実習生として利用者の尊厳に配慮することを理解し、適切にかかわる姿勢を習得する。各種記録の目的を理解し、正確に記録する技能を有する。								
LO-3	課題の調査に積極的取り組み、自己の考えをまとめることができる。								
LO-4	授業に積極的参加し意見を述べ、グループワークの趣旨を理解し積極的に進行・サポートできる。								
LO-5	実習生・介護福祉士としての自覚を持ち、専門職としての資質を養うように努力できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40		30		10	20			100
LO-1	20								20
LO-2	20		10						30
LO-3			20						20
LO-4					10				10
LO-5						20			20
備考	その他 A については、授業中の意見発表、グループワーク活動、参加態度に点数を与える。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	実習指導 授業の概要説明 介護計画実習までの流れ 基礎実習 事後学習(1) 訪問介護実習の振り返り	
	【予習】基礎実習訪問・施設 実習ファイルの確認をする。実習の手引き参照	30分
	【復習】基礎実習・訪問を終えて明らかになった課題を、指示された用紙に記入する。	60分
第2回	基礎実習 事後学習(2) 基礎実習・訪問 振り返り	
	【予習】訪問介護の目的について確認をする。	30分
	【復習】訪問介護実習の振り返りを通して、訪問介護の意義について指定の用紙に記入する。	60分
第3回	基礎実習 事後学習(3) 事前・事後レポートを読み返し、達成状況を客観的に整理する。そのことをとおして、残された課題を明らかにする。	
	【予習】B表の事例についてあらかじめ読んでくる。	30分
	【復習】B表の振り返りを用紙に記入する。	60分
第4回	基礎実習 事後学習(4) B表を振り返ります。	
	【予習】「実習の手引き」B表の要点を熟読してください。	30分
	【復習】事例課題の作成、提出。	60分
第5回	基礎実習 事後学習(5) C表 利用者との関わりの過程を振り返ります	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】授業で提示されたC表を完成する。	60分
第6回	基礎実習 事後学習(6) B表の振り返りをします。(まとめ・発表)	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】C表のポイントについて、再確認します。	60分
第7回	介護計画実習 事前学習(1) 実習のねらいと到達目標について説明します。	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】介護計画実習の流れを確認します。	60分
第8回	介護計画実習 事前学習(2) 受け持ち利用者像について明確にします。	
	【予習】平成27年度介護計画実習報告集を読んでくる。興味・関心を持った事例を3例取り上げる。	30分
	【復習】介護計画実習での各自の受け持ちたい利用者像を用紙に記入する。	60分
第9回	介護計画実習 事前学習(3) 実習課題の明確化 日々の実習目標の作成	
	【予習】実習の手引き「今日の実習目標」要点を読んでくる。	30分
	【復習】授業中の課題を完成する。	60分
第10回	介護計画実習 事前学習(4) 生活支援技術の確認 受け持ち利用者像の最終確認をして、実習での具体的な行動を計画します。	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】課題作成、提出。	60分

第11回	特別講義 介護計画実習にむけて、実習指導者から講義を受けます。	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】事前レポート作成、提出。	60分
第12回	実習で想定される問題点に対する対応策を検討します。	
	【予習】事前レポート作成、提出	60分
	【復習】授業で提示された事例を振り返る。	60分
第13回	レクリエーション企画立案・報告書の書き方について説明	
	【予習】実習の手引きを読んでくる	30分
	【復習】レクリエーション企画書・報告書の確認	60分
第14回	介護計画実習で使用する記録用紙の配布。	
	【予習】テキスト・手びきを読む。	30分
	【復習】定期試験対策	60分
第15回	事前打ち合わせの オリエンテーション	
	【予習】定期試験対策	30分
	【復習】定期試験対策	60分

授業科目名	基礎実習 -1			科目コード	W111-60				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵 中島 真由美 関 好博 小椋 一也					
実務経験	介護老人保健施設と居宅介護サービスの経験をもとに、介護福祉士の資格取得に必要な基礎知識を中心に、現場で通用する実践的な介護知識・技術を解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	実習指導		後継科目	介護計画実習 実習指導					
関連科目	生活支援技術 こころとからだのしくみ コミュニケーション技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	言語による意思疎通が可能な高齢者または障害者と関わり、施設における生活やその人らしい暮らし方が理解でき、学内で学習した基礎的な生活支援技術について理解を深めます。また、利用者個々により生活の違いを理解し、個別ケアを理解すると共に、利用者・家族とのコミュニケーションの実践を行います。								
学習目標	1．利用者とかかわりを持つための基本がわかる。2．高齢者・障がい者等の多様な生活を知る。3．自立に向けた生活援助を見学・体験して、生活支援技術について理解を深める。								
キーワード	基礎実習、コミュニケーション、生活支援、施設実習、 居宅サービス 通所介護								
テキスト・ 参考書等	富山短期大学 実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	利用者とのコミュニケーションをとることができる								
LO-2	生活支援技術 初歩的なコミュニケーションができる。 利用者が暮らしやすいように、安全に配慮した工夫がわかる。								
LO-3	記録と計画 見学・実施した事柄を実習記録に記録することができる。 利用者とのかかわりの事実が記録できる。								
LO-4	チームワーク 介護職員の業務内容を理解できる。 社会的役割 施設・事業所について理解できる。 家族とのかかわりが理解できる。								
LO-5	実習課題 自己の課題を設定し、計画的に取り組むことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1日目 1.自己紹介をする。 2.申し送りに参加する。 3.「今日の実習目標」を発表し、実習指導者または担当者と行動予定を確認する。 4.利用者の1日の生活の流れを知る。 5.生活環境についての工夫や安全対策等について知る。 6.ミニカンファレンスをする。 7.経験録を記入し、指導者の確認を得る。	
	【予習】B表記入	90分
	【復習】A表追記	90分
第2回	2日目 1.2.3.6.7同様 8.職員に同行し、利用者を知る・いい介護に触れる	
	【予習】B表記入	90分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。	90分
第3回	3日目 1.2.3.6.7.8.同様 9.利用者とコミュニケーションをとる	
	【予習】B表記入	90分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。	90分
第4回	4日目 1.2.3.6.7.8.同様 9.利用者とコミュニケーションをとる	
	【予習】B表記入	90分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。	90分
第5回	5日目 1.2.3.6.7.8.同様 9.利用者とコミュニケーションをとる 気づきをまとめる 最終カンファレンス	
	【予習】B表記入 最終カンファレンスの準備をする	90分
	【復習】自己課題を調査まとめておく。 C表を記入する。 経験録を記入確認する。	90分

授業科目名	介護計画実習			科目コード	W111-61				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - 介護		担当教員名	井上 理絵 中島 眞由美 関 好博 小椋 一也					
実務経験	介護福祉士・介護支援専門員としての勤務経験を基に、介護福祉施設等での実習の具体的な内容を指導するとともに、実習指導者と連携しながら実習に必要な技術や心構え、マナー、記録等について一人一人の学生を指導する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	3単位					
前提科目(知識)	実習指導		後継科目	実習指導					
関連科目	基礎実習 生活支援技術 ・ 介護過程 ・								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	利用者の背景を知り、個人の全体像を把握することができるよう、情報を収集していくことを目指します。また、利用者の個別的ニーズがわかり、反応を確かめながら介護を展開します。								
学習目標	1. 受け持ち利用者の全体像を把握し、ICFに基づいて記録できる。 2. 多職種との協働を経験し、介護職員の役割が理解できる。 3. 自立に向けた援助の在り方を考え、実践できる。 4. 受け持ち以外の利用者の状態を大まかにとらえることができる。 5. 利用者の生きがいを高める活動を企画・実践する事ができる。 6. 施設職員の役割が理解できる。								
キーワード	介護計画実習、受け持ち利用者、ICF、レクリエーション、時差勤務								
テキスト・ 参考書等	富山短期大学 実習の手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	利用者の理解 受け持ち利用者の全体像を把握し、個別的なニーズが分かる。 配属された実習場所で生活をしているその他の利用者を大まかに捉える事ができる。								
LO-2	生活支援技術 個別なニーズが分かり、反応を確認しながら援助ができる。 自立支援に向けた援助のあり方を考え、実施することができる。								
LO-3	記録と計画 利用者の全体像が分かるように、具体的に記録する。 実行可能な開度計画を立案し、簡潔に記録できる。								
LO-4	チームワーク 受け持ち利用者を中心に多職種との協働を経験できる。 多職種との協働の中で介護職員や個人の役割が理解できる。 社会的役割								
LO-5	実習課題 設定した課題を実践し、評価することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1日目 1.自己紹介をする。 2.申し送りに参加する。 3.「今日の実習目標を発表し、実習指導者または担当者と行動予定を確認する。 4.利用者の1日の生活の流れを知る。 5.生活環境についての工夫や安全対策等について知る。 6.ミニカンファレンスをする。 7.経験録を記入し、指導者の確認を得る。	
	【予習】 実習施設（パンフレット、HPなど確認）・実習指導者確認。 交通手段・時間・服装確認。 実習先に電話でアポイントを取る。 事前レポート完成 受け持ちしたい利用者像を記入。 A・B表記入	30分
	【復習】 A・B表記入	30分
第2回	2日目 1.受け持ち利用者を決定するため、コミュニケーション技法を用いて会話する。 2.生活支援技術の説明・見学する。3・6・7は同様。	
	【予習】 B表記入	30分
	【復習】 A表追記	30分
第3回	3日目 1.受け持ち利用者を決定する。 2.生活支援技術の説明・見学・体験する。（ADLの比較的自立している利用者の食事・排泄・移動・環境の整備の介助の補助をする。3・6・7は同様。	
	【予習】 B表記入	30分
	【復習】 自己課題を調査まとめておく。	30分
第4回	4日目 1.利用者に自分からかわかり、本人の思いを引き出すように意図的な会話を展開して情報収集する。 2・3・6・7は同様。	
	【予習】 B表記入	30分
	【復習】 自己課題を調査まとめておく。 D表記入 レクリエーションの企画書作成。	30分
第5回	5日目 1・2・3・6・7は同様。 8.受け持ち利用者の情報・生活支援方法の根拠を考え、指導者・担当教員と相談する。 9.レクリエーションの相談・確認を行う。	
	【予習】 B表記入	30分
	【復習】 自己課題を調査まとめておく。 C・D表を記入する。 経験録を記入確認する。 レクリエーションの準備。	30分
第6回	6日目 1・2・3・6・7・8・9は同様。	
	【予習】 B表記入 時差勤務の準備をする。	30分
	【復習】 自己課題を調査まとめておく。 D表を記入する。	30分
第7回	7日目 1・2・3・6・7・8・9は同様。	
	【予習】 B表記入 時差勤務の準備をする。	30分
	【復習】 自己課題をまとめておく。	30分
第8回	8日目 1・2・3・6・7・8・9は同様。	
	【予習】 B・D表記入 レクリエーションの準備をする。	30分
	【復習】 D表の下書き完成 自己課題を調査まとめておく。	30分
第9回	9日目 1・2・3・6・7・8・9は同様。 レクリエーションを実施する	
	【予習】 B・D表記入 レクリエーションの準備をする。	30分
	【復習】 D表の下書き完成 自己課題を調査まとめておく。 レクリエーション報告書をまとめる	30分
第10回	10日目 1・2・3・6・7・8・9は同様。	
	【予習】 B・C・D表記入	30分
	【復習】 カンファレンスの準備 自己課題をまとめておく。	30分

第11回	11日目 1・2・3・6・7・8・9は同様。	
	【予習】B・D表記入	30分
	【復習】カンファレンスの準備 自己課題をまとめておく。	30分
第12回	12日目 1・2・3・6・7・8・9は同様。 まとめおよび反省会	
	【予習】B表記入 反省会の準備をする。	30分
	【復習】A表・B表・C表(2枚)・D表・レクリエーション企画書・報告書・経験録・事後レポート・自己評価表記入 提出用ファイルの整備 お礼状	30分

授業科目名	ころとからだのしくみ			科目コード	W112-10				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - ころとからだのしくみ		担当教員名	中島 眞由美 白井 聡美					
実務経験	市の職員（保健師、社会福祉等）として保健所、保健福祉センター、長寿福祉課等に勤務し、相談支援、政策立案をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。（中島）								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	ころとからだのしくみ					
関連科目	ころとからだのしくみ ころとからだのしくみ								
資格等 取得との関連	介護福祉士必須科目								
授業の概要	介護実践に必要なころとからだのしくみの導入科目として、健康の概念、ころとからだのしくみの基礎的理解をはかり、ころのしくみについて基礎的な知識を得る内容とする。 認知症や障害のある人がその人らしい生活を実現できるよう、心理的側面から介護実践を考えることができる内容とする。								
学習目標	介護を必要としている人の生活支援を行うため、健康の概念、介護実践の根拠となる人間の脳のしくみと働き、心理を理解する学習とする。								
キーワード	介護、認知症、脳、尊厳								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座11「ころとからだのしくみ」中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	健康の概念、ころのしくみの基本事項（人間の欲求、脳のしくみ、認知、学習、記憶等）について理解する。								
LO-2	健康の概念、ころのしくみの基本事項（人間の欲求、脳のしくみ、認知、学習、記憶等）について説明できる。								
LO-3	ころのしくみについて身近な高齢者等を通して考察することができる。								
LO-4	ころのしくみについて関心をもち、主体的に学ぼうという意欲がある。								
LO-5	ころのしくみを理解し、グループワークにおいて多様な考えをもつクラスメイトに共感できる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		20			20			100
LO-1	30								30
LO-2	10								10
LO-3	20		10						30
LO-4						10			10
LO-5			10			10			20
備考	LO-4の10は授業態度（いかにグループワークなどに積極的に参加したのか）とする。 レポートは採点后、コメントをつけて返却する。 ころとからだのしくみに関して何度かグループワークを行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	こころとからだのしくみの基礎：オリエンテーション、健康とは何か（中島真由美）	
	【予習】シラバスを読んで授業の内容について確認する。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第2回	こころとからだのしくみの基礎：介護に関するこころのしくみの基礎的理解（中島真由美）	
	【予習】テキストの該当箇所を読み、わからないことを本やネットで調べる。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第3回	こころとからだのしくみの基礎：介護に関するこころのしくみの基礎的理解（中島真由美）	
	【予習】テキストの該当箇所を読み、わからないことを本やネットで調べる。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第4回	こころとからだのしくみの基礎：介護に関するからだのしくみの基礎的理解（中島真由美）	
	【予習】テキストの該当箇所を読み、わからないことを本やネットで調べる。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第5回	こころとからだのしくみの基礎：介護に関するからだのしくみの基礎的理解（中島真由美）	
	【予習】テキストの該当箇所を読み、わからないことを本やネットで調べる。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第6回	こころのしくみの理解：脳のつくりと働きの理解（白井聡美）	
	【予習】脳のつくりについて本やインターネットを用いて調べる。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第7回	こころのしくみの理解：人間欲求の基本的理解（白井聡美）	
	【予習】ヒトの欲求について本やネットを用いて調べる。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第8回	こころのしくみの理解：自己概念とは、自己概念に影響する要因（白井聡美）	
	【予習】自己概念について本やネットを用いて調べる。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第9回	こころのしくみの理解：自己実現と尊厳（白井聡美）	
	【予習】自己実現と尊厳について本やネットを用いて調べる。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第10回	こころのしくみの理解：こころの仕組みに関する諸理論（白井聡美）	
	【予習】こころの仕組みについて本やネットを用いて調べる。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分

第11回	こころのしくみの理解：脳のしくみ、認知のしくみ（白井聡美）	
	【予習】脳の仕組みについて本やネットを用いて調べる。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第12回	こころのしくみの理解：学習・記憶・思考のしくみ（白井聡美）	
	【予習】学習、記憶、思考について本やネットを用いて調べる。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第13回	こころのしくみの理解：感情・情動のしくみ（白井聡美）	
	【予習】感情、情動について本やネットを用いて調べる。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第14回	こころのしくみの理解：意欲・動機づけのしくみ（白井聡美）	
	【予習】意欲、動機づけについて本やネットを用いて調べる。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分
第15回	こころのしくみの理解：適応のしくみ（白井聡美）	
	【予習】適応の仕組みについて本やネットを用いて調べる。	90分
	【復習】授業内容についてテキストおよびノートを見て確認する。	90分

授業科目名	こころとからだのしくみ			科目コード	W112-11				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	白井 聡美					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	こころとからだのしくみ、発達と老化の理解、認知症ケア論、障害者ケア論					
関連科目	生活支援技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士免許必須科目								
授業の概要	人体を構成している各組織や器官の構造（解剖学）や機能（生理学）、生体機能を維持するしくみを学ぶ。								
学習目標	介護技術の基礎となる人体の構造と機能に関する基礎知識を身につける。								
キーワード	解剖、生理、生命、ヒト、遺伝、細胞、組織、器官								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座 1 1 こころとからだのしくみ 第2版 中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人体を構成している各組織や器官の名称および機能に関する基礎知識がある。								
LO-2	人体を構成している各組織や器官の構造と機能が説明できる。								
LO-3	各組織や器官のしくみやはたらきについて、学生の体や身の回りで起こっていることと結びつけて考えることができる。								
LO-4	人体の構造と機能について関心を持ち、主体的に受講できる。								
LO-5	共に学ぶ者が互いに気持ちよく学べるよう学習環境に気を配ることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70					30			100
LO-1	30								30
LO-2	20								20
LO-3	20								20
LO-4						20			20
LO-5						10			10
備考	Aは普通の授業の中で評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション からだのしくみの理解 組織・器官、身体各部の名称	
	【予習】テキストp42～47を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分
第2回	からだのしくみの理解 細胞、遺伝	
	【予習】テキストp46～49を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分
第3回	からだのしくみの理解 脳神経、神経系	
	【予習】テキストp49～53、p71～72を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分
第4回	からだのしくみの理解 感覚器	
	【予習】テキストp53～56を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分
第5回	からだのしくみの理解 感覚器	
	【予習】テキストp53～56を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分
第6回	からだのしくみの理解 呼吸器、循環器	
	【予習】テキストp56～60を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分
第7回	からだのしくみの理解 消化器	
	【予習】テキストp60～63を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分
第8回	からだのしくみの理解 消化器	
	【予習】テキストp60～63を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分
第9回	からだのしくみの理解 泌尿器、生殖器	
	【予習】テキストp63～64、p72～73を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分
第10回	からだのしくみの理解 骨、筋肉、関節	
	【予習】テキストp65～70を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分

第11回	からだのしくみの理解 骨、筋肉、関節	
	【予習】テキストp65～70を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分
第12回	からだのしくみの理解 内分泌	
	【予習】テキストp74～78を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分
第13回	からだのしくみの理解 血液、体液、リンパ液	
	【予習】テキストp78～80を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分
第14回	からだのしくみの理解 生命を維持するしくみ	
	【予習】テキストp81～82を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分
第15回	からだのしくみの理解 介護福祉職に必要な薬の知識、まとめ	
	【予習】テキストp82～86を読んでくる。	60分
	【復習】講義内容のおさらい、講義ノートのまとめ、資料のファイリング	120分

授業科目名	ころとからだのしくみ			科目コード	W112-12				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - ころとからだのしくみ		担当教員名	白井 聡美					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	ころとからだのしくみ		後継科目	ころとからだのしくみ					
関連科目	発達と老化の理解								
資格等 取得との関連	介護福祉士								
授業の概要	生活支援を行う際に必要となる基礎的な知識として、移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持の介護実践の場面に応じたころとからだのしくみ及び機能低下や障害が生活に及ぼす影響について理解する内容とする。								
学習目標	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持の介護実践の場面に必要なころとからだの仕組みに関する基本的な知識を身につける。 介護実践時の観察のポイントや対応に関する基礎的な知識を身につける。								
キーワード	移動、身じたく、食事、入浴、清潔保持								
テキスト・ 参考書等	最新介護福祉士養成講座11「ころとからだのしくみ」第2版 中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のしくみ、心身の機能低下が及ぼす影響について基礎的知識がある。								
LO-2	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持の観察のポイントを説明できる。								
LO-3	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のしくみを理解し、変化と気づきに対応する思考力、判断力がある。								
LO-4	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のケアについて関心をもち主体的に学び続ける力がある。								
LO-5	移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持のケアが必要な人への思いに共感する力がある。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		10			40			100
LO-1	30								30
LO-2	10					10			20
LO-3	10		10						20
LO-4						20			20
LO-5						10			10
備考	その他 A は授業の中で評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	第3章 移動に関連したところからだのしくみ 第1節 移動のしくみ	
	【予習】教科書P90～P104までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第2回	第3章 移動に関連したところからだのしくみ 第2節 心身の機能低下が移動に及ぼす影響	
	【予習】教科書P106～P111までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第3回	第3章 移動に関連したところからだのしくみ 第3節 変化の気づきと対応	
	【予習】教科書P112～P114までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第4回	第4章 身じたくに関連したところからだのしくみ 第1節 身じたくのしくみ	
	【予習】教科書P118～P135までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第5回	第4章 身じたくに関連したところからだのしくみ 第1節 身じたくのしくみ	
	【予習】教科書P118～P135までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第6回	第4章 身じたくに関連したところからだのしくみ 第2節 心身の機能低下が身じたくに及ぼす影響	
	【予習】教科書P137～P142までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第7回	第4章 身じたくに関連したところからだのしくみ 第3節 変化の気づきと対応	
	【予習】教科書P143～P151までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第8回	第5章 食事に関連したところからだのしくみ 第1節 食事のしくみ	
	【予習】教科書P154～P160までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第9回	第5章 食事に関連したところからだのしくみ 第2節 心身の機能低下が食事に及ぼす影響	
	【予習】教科書P162～P168までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第10回	第5章 食事に関連したところからだのしくみ 第3節 変化の気づきと対応	
	【予習】教科書P169～P175までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分

第11回	第6章 入浴・清潔保持に関連したことごとからだのしくみ 第1節 入浴・清潔保持のしくみ	
	【予習】教科書P178～P188までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第12回	第6章 入浴・清潔保持に関連したことごとからだのしくみ 第1節 入浴・清潔保持のしくみ	
	【予習】教科書P178～P188までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第13回	第6章 入浴・清潔保持に関連したことごとからだのしくみ 第2節 心身の機能低下が入浴・生活保持に及ぼす影響	
	【予習】教科書P190～P199までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第14回	第6章 入浴・清潔保持に関連したことごとからだのしくみ 第3節 変化の気づきと対応	
	【予習】教科書P201～P210までを読んでくる。	90分
	【復習】講義内容のおさらい、ノートの整理、資料のファイリング	90分
第15回	まとめ	
	【予習】これまでのノートを振り返りみてる。	90分
	【復習】移動、身じたく、食事、入浴・清潔保持に関連したことごとからだのしくみについてまとめる	90分

授業科目名	発達と老化の理解			科目コード	W112-20				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	谷 優美子					
実務経験	市の職員（看護師）として病院に勤務し、高齢者のケアや家族の相談、社会資源との連携をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	発達と老化の理解					
関連科目	こころとからだのしくみ								
資格等 取得との関連	介護福祉士、介護職員初任者研修								
授業の概要	人間の成長と発達の基本的な考え方を踏まえ、ライフサイクルの各期における身体的・心理的・社会的特徴と発達課題及び特徴的な疾病について理解する内容とする。 老化に伴う身体的・心理的・社会的変化と生活への影響を理解する内容とする。								
学習目標	人間の成長と発達の基礎を理解する。 老年期の発達と成熟を理解する。 老化に伴うこころとからだの変化と生活を理解する。								
キーワード	成長と発達 発達理論 老化 高齢者の心理 高齢者に多い症状・病気								
テキスト・ 参考書等	最新・介護福祉士養成講座12「発達と老化の理解」中央法規、 介護職員初任者研修テキスト1介護のしごとの基礎 中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人間の成長と発達、老化にともなうこころとからだの変化と生活についての基礎的知識がある。								
LO-2	人間の成長と発達、老化にともなうこころとからだの変化と生活についての基礎的知識をふまえ、高齢者から若い頃と比べて生活面で変化したと思うこと等、聞き取ることができる。								
LO-3	老化にともなうこころとからだの変化を理解し、高齢者の支援を行うために必要な思考力・判断力・表現力がある。								
LO-4	人間の成長と発達、老化にともなうこころとからだの変化と生活について、関心を持ち、主体的に学ぶ力がある。								
LO-5	高齢者の多様な生き方や考え方に共感し、受容することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70					30			100
LO-1	52								52
LO-2						10			10
LO-3	18								18
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他は、授業での態度、発表								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	人間の成長と発達の基礎的理解 老化に伴うところからだの変化と日常	
	【予習】初任者研修テキストP266～P281を読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第2回	人間の成長と発達の基礎的理解 老化に伴うところからだの変化と日常	
	【予習】初任者研修テキストP282～P293を読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第3回	人間の成長と発達の基礎的理解 高齢者と健康	
	【予習】初任者研修テキストP294～P311を読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第4回	人間の成長と発達の基礎的理解 高齢者と健康	
	【予習】初任者研修テキストP312～P325を読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第5回	人間の成長と発達の基礎的理解 第1章 人間の成長と発達の基礎的知識 第2章 人間の発達段階と発達課題 第1節 発達理論 第2節発達段階と発達課題	
	【予習】教科書P2～P34までをよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第6回	人間の成長と発達の基礎的理解 第2章 人間の発達段階と発達課題 第3節 身体的機能の成長と発達	
	【予習】教科書P35～P46までをよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第7回	人間の成長と発達の基礎的理解 第2章 人間の発達段階と発達課題 第4節 心理的機能の成長と発達 第5節 社会的機能の発達	
	【予習】教科書P47～P69までをよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第8回	人間の成長と発達の基礎的理解 第3章 老年期の特徴と発達課題 第1節 老年期の定義 第2節 老化とは 第3節 老年期の発達課題	
	【予習】教科書P70～P97までをよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第9回	人間の成長と発達の基礎的理解 第3章 老年期の特徴と発達課題 第4節 老年期をめぐる今日的課題	
	【予習】教科書P98～P106までをよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第10回	老化にともなうところからだの変化と生活 第4章 第1節 老化にともなう身体的変化と生活への影響	
	【予習】教科書P110～P126までをよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分

第11回	老化にともなうこころとからだの変化と生活 第4章 第1節 老化にともなう身体的変化と生活への影響	
	【予習】教科書P126～P140までをよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第12回	老化にともなうこころとからだの変化と生活 第4章 第2節 老化にともなう心理的な変化と生活への影響	
	【予習】教科書P143～P162までをよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第13回	老化にともなうこころとからだの変化と生活 第4章 第2節 老化にともなう心理的な変化と生活への影響	
	【予習】教科書P143～P162までをよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第14回	老化にともなうこころとからだの変化と生活 第4章 第3節 老化にともなう社会的な変化と生活への影響	
	【予習】教科書P164～P184までをよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分
第15回	老化にともなうこころとからだの変化と生活 第4章 第3節 老化にともなう社会的な変化と生活への影響、まとめ	
	【予習】教科書P164～P184までをよく読んでくる。	90分
	【復習】授業を振り返り、ノートを整理する。	90分

授業科目名	発達と老化の理解			科目コード	W112-21				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	山本 朋子					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	発達と老化の理解		後継科目						
関連科目	こころとからだのしくみ								
資格等 取得との関連	介護福祉士免許必須科目 社会福祉主事任用資格関連科目								
授業の概要	生活習慣・老化に伴う身体および精神機能の変化の特長について基礎的知識を習得するとともに、中年・高齢期にみられる代表的な疾患および生活上の留意点を理解する。								
学習目標	高齢者の健康について理解する。 高齢者の症状・疾患の特徴について理解する。 高齢者に多い疾患の原因、症状、治療を知り、生活上の留意点を理解する。 保健医療職との連携の必要性やあり方についてを理解する。								
キーワード	病気、原因、症状、治療、生活上の留意								
テキスト・ 参考書等	最新・介護福祉士養成講座12「発達と老化の理解」中央法規								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	対象となる疾患の原因、症状、治療、生活上の留意点について理解している。								
LO-2	対象となる疾患の原因、症状、治療、生活上の留意点を説明できる。								
LO-3	病気に罹患することにより生じる身体的、心理的、社会的変化など関連づけながら包括的に疾患を持つ人について考えを深めることができる。								
LO-4	対象となる疾患の原因、症状、治療、生活上の留意点について関心を持ち意欲的に学ぶ事ができる。								
LO-5	主体的に自分の考えを述べ、他者の意見も尊重することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	30				20			100
LO-1	20	20							40
LO-2	10								10
LO-3	10								10
LO-4	10	10				10			30
LO-5						10			10
備考	試験は疾病に関する原因、症状、治療法、生活上の留意点を中心に出题します。 第4章「老化ともなうこころとからだの変化と生活」や「こころとからだのしくみ」で学習した知識が所々で必要となります。 Aは受講態度、受講カードの記載内容(質問等)です。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 第1節 高齢者の健康	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。第4章「老化にともなうこととからだの変化と生活」「こととからだのしくみ」で学習した内容を復習する。また、日頃から、疾病について興味を持ち、学ぶ機会も設ける。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。	90分
第2回	第2節 高齢者の症状・疾患の特徴	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。これまで接した人の中に授業内容に該当する人がいないか考える。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、症状・疾患の特徴を自分言葉で説明できるようにする。	90分
第3回	第3節 高齢者に多い疾患と生活上の留意点 骨格系・筋系	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第4回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 脳・神経系	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第5回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 皮膚・感覚器系	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第6回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 循環器系	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第7回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 呼吸器系	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第8回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 消化器系	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第9回	これまでのまとめ 中間テスト	
	【予習】これまでの授業内容を学習し、中間テストの勉強をする。授業中に実施したミニテストを振り返る。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノート、中間テストを再度復習する。これまでに学んだ疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第10回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 腎・泌尿器系	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分

第11回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 内分泌・代謝系	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第12回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 悪性新生物 高齢者に多い疾患と生活上の留意点 感染症	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。	90分
第13回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 悪性新生物 高齢者に多い疾患と生活上の留意点 感染症	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。試験勉強	90分
第14回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 精神疾患他	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。分からない言葉や理解が難しい言葉を自分なりに調べる。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解し、不明点を明らかにする。疾患の原因、症状、生活上の留意点を自分の言葉で説明できるようにまとめる。試験勉強	90分
第15回	高齢者に多い疾患と生活上の留意点 その他の疾患 第4節保健医療との連携 まとめ	
	【予習】テキストの該当部分を読み、授業内容の概要を把握する。 これまでの授業内容を確認する。理解できていないことや理解が不十分な内容について明らかにし、質問の準備をする。	90分
	【復習】テキスト、授業の資料、自分のノートを読んで、これまでの学習内容を確認し理解する。 試験勉強	90分

授業科目名	認知症ケア論			科目コード	W112-30				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	林 浩靖					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	医学一般		後継科目	認知症ケア論					
関連科目	発達と老化、高齢者福祉論、介護実習、								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	認知症に関する基礎的知識を習得するとともに、認知症のある人の体験や意思表示が困難な特性を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得します。最新の知見を踏まえて認知症の人の心理を理解し、さまざまなケア方法を知ることによって自信を持って適切な対応ができるよう、様々な教材、ディスカッションも交えて実践力に繋がります。								
学習目標	1.認知症ケアの歴史や現状、国の施策を理解する 2.認知症の原因となる主な病気の症状や特徴を学び、それに伴うこころとからだの変化を理解する。 3.認知症の人の特性を理解し、日常生活における支援・ケアの基本について学び、共感的に理解することができる。								
キーワード	認知症 中核症状 行動・心理症状（BPSD） パーソン・センタード・ケア 認知症大綱								
テキスト・ 参考書等	「認知症の理解」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	認知症を取り巻く現状や歴史、認知症の原因疾患・中核症状・行動・心理症状（BPSD）、パーソン・センタード・ケアについて理解している。								
LO-2	認知症の人の心理に共感し、課題の中で、それに関する自身の思いを表現することができる。								
LO-3	それぞれの認知症の原因疾患の特徴を知り、認知症の人の症状にあわせた対応方法を考えることができる。								
LO-4	授業には前向きな姿勢で取り組み、新しい知識を吸収したいという思いで講義に臨んでいる。								
LO-5	相手の立場に立って考えられる姿勢が常時あり、円滑なコミュニケーションをとることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		25			25			100
LO-1	30		5			5			40
LO-2	10		5			5			20
LO-3	10		5			5			20
LO-4			5			5			10
LO-5			5			5			10
備考	その他Aは、普通の授業の中で評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	認知症を取り巻く現状 実習体験を振り返り、認知症に関する授業前の自身の認知症の方への理解の状況を把握 自身の事例をワークにまとめ、グループ毎に発表し、意見交換を行う 「認知症」の意義と定義を学ぶ	
	【予習】本シラバスを読み、科目の概要や目的を抑える	60分
	【復習】自身の実習体験と他の人の体験をふりかえり、今後どのような知識が必要となるのかをまとめる 「認知症」の言葉の定義や意味を確認する	120分
第2回	認知症を取り巻く現状 認知症ケアの歴史について学ぶ(新オレンジプラン、認知症大綱など)	
	【予習】テキストP100からP109を読んでおく	60分
	【復習】テキストと配布資料より、痴呆から認知症への移り変わりの背景を確認し、現状と今後の方向性について理解を深める	120分
第3回	医学的側面から見た認知症の中核症状についての理解する テキストと配布資料をもとに説明	
	【予習】テキストP32からP39を読んでおく	60分
	【復習】配布資料をもとに、認知症の中核症状について説明できるようにする	120分
第4回	医学的側面からみた認知症の基礎 行動・心理症状(BPSD)についての理解する テキストと配布資料をもとに説明	
	【予習】テキストP47からP61までを読んでおく	60分
	【復習】中核症状と行動・心理症状の違いがわかり、説明ができる それぞれに含まれる症状について理解し、説明ができる	120分
第5回	医学的側面からみた認知症の基礎 医学的側面から「アルツハイマー型認知症」「血管性認知症」について理解する	
	【予習】テキストP72からP76までを読んでおく	60分
	【復習】「アルツハイマー型認知症」「血管性認知症」について理解し、説明ができる	120分
第6回	医学的側面からみた認知症の基礎 医学的側面から「レビー小体型認知症」について理解する	
	【予習】テキストP76からP78までを読んでおく	60分
	【復習】「レビー小体型認知症」の症状と特徴について理解し、説明ができる	120分
第7回	医学的側面からみた認知症の基礎 医学的側面から「前頭側頭型認知症」「その他の認知症」について理解する	
	【予習】テキストP79からP83までを読んでおく	60分
	【復習】「前頭側頭型認知症」「その他の認知症」の症状と特徴について理解し、説明ができる	120分
第8回	医学的側面からみた認知症の基礎 医学的側面から「若年認知症」「MCI」について理解する	
	【予習】テキストP83からP86までを読んでおく	60分
	【復習】「若年認知症」「MCI」について理解し、説明ができる	120分
第9回	医学的側面からみた認知症の基礎 認知症の診断と、認知症の評価スケールについて理解する 実際に評価スケールを実施してみる(生活障害のスケールも含む)	
	【予習】テキストP40から46、P62からP71,149から180を読んでおく	60分
	【復習】授業の資料を再確認し、認知症の診断基準や評価スケールについて理解し、説明することができる	120分
第10回	医学的側面からみた認知症の基礎 認知症類似の状態について知る。「健忘」「せん妄」「うつ病」について理解をする	
	【予習】テキストP19からP23を読んでおく	60分
	【復習】「健忘」「せん妄」「うつ病」について、それぞれの「認知症」との違いがわかり、説明ができる	120分

第11回	認知症の治療 「薬物療法」「非薬物療法」について理解する。	
	【予習】テキストP 87から P 92、217から236までを読んでおく	60分
	【復習】認知症の中核症状、行動・心理症状に対する「薬物療法」「非薬物療法」について理解し、説明できる。	120分
第12回	認知症の予防について理解する。	
	【予習】テキストP 93から P 97までを読んでおく	60分
	【復習】認知症の予防についてどのようなことが効果的なのか理解し、説明できる。	120分
第13回	認知症者に対するコミュニケーション方法、適切な環境調整について理解する	
	【予習】テキストP 181から P 187、P245からP256までを読んでおく	60分
	【復習】認知症の進行に伴い変化する、認知症の人の心理、コミュニケーションの特徴、関わる際の留意点、環境調整などを理解する	120分
第14回	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 「パーソン・センタード・ケア」について理解をする	
	【予習】テキストP 140から P 148までを読んでおく	30分
	【復習】授業の資料を再確認し、「パーソン・センタード・ケア」の考え方を理解し、説明することができる	120分
第15回	認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 総合的なまとめ DVD（認知症介護に関する内容）	
	【予習】これまで学習したテキスト範囲、資料を確認する	30分
	【復習】DVDの各場面ごとの主人公の思いや周囲の人の関わりをワークシートにまとめる	180分

授業科目名	障害者ケア論			科目コード	W112-40				
科目区分	専門科目 - 介護福祉分野 - こころとからだのしくみ		担当教員名	中島 眞由美					
実務経験	市の職員（保健師、社会福祉士）として保健福祉センター所長、障害福祉課長として、相談支援、政策立案をしてきた実務経験をもとに必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	こころとからだのしくみ ・ 、発達と老化の理解		後継科目	障害者ケア論					
関連科目	発達と老化の理解 、こころとからだのしくみ 、介護の基本 、生活支援技術 、コミュニケーション技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	障害の概念や障害福祉の基本理念をふまえ、身体障害のある人の心理や身体機能、社会的側面に関する基礎的知識を習得するとともに、障害のある人の地域での生活を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を習得します。								
学習目標	障害の概念、障害福祉の基本的理念、障害福祉制度等について理解する。 それぞれの障害特性に関する医学的・心理的知識を習得する。 障害特性に応じたケア、環境にも配慮した介護の視点を理解し、よりよく生きるためのケアを考えることができる。								
キーワード	肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、言語障害、内部障害								
テキスト・ 参考書等	中央法規 介護福祉士養成テキスト 「障害の理解」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	障害の概念や福祉の基本理念をふまえ、身体障害のある人の心理や身体機能、社会的側面を理解している。								
LO-2	障害の概念や福祉の基本理念をふまえ、身体障害のある人の心理や身体機能、社会的側面を説明できる。								
LO-3	身体障害の特性をふまえ、支援について考える思考・判断がある。								
LO-4	身体障害について、教科書以外に主体的に学ぶ意欲がある・								
LO-5	身体障害の特性に応じて、尊厳を大切に作る人間性を身につけている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50	30		20			100
LO-1			10	10					20
LO-2			10	10					20
LO-3			10	10					20
LO-4			10			10			20
LO-5			10			10			20
備考	その他は、授業態度、グループワークでの発言等								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	障害の基礎的理解 第1節障害の概念と第2節障害者福祉の基本理念	
	【予習】シラバス、テキストの目次をよく読み、授業の全体像をとらえる。	90分
	【復習】障害の概念について資料・ノートを整理する。	90分
第2回	障害の基礎的理解 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、家族の心理、かかわり方の支援の理解	
	【予習】テキストをよく読み、わからないところを調べておく。	90分
	【復習】障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴について資料・ノートを整理する。	90分
第3回	障害の基礎的理解 第3節 障害福祉に関する諸制度、第4節障害者福祉制度と介護保険制度	
	【予習】テキストをよく読み、障害者福祉制度と介護保険制度について分からない言葉を調べておく。	90分
	【復習】障害者福祉制度と介護保険制度について資料・ノートを整理する。	90分
第4回	障害の医学的・心理的側面と理解と特性に応じた支援 2章第1節 障害のある人の心理について理解する	
	【予習】テキストをよく読み、障害のある人の心理についてわからなことを調べておく。	90分
	【復習】障害のある人の心理について資料・ノートを整理する。	90分
第5回	障害の医学的・心理的側面と理解と特性に応じた支援 肢体不自由のある人の理解	
	【予習】身体的特性の理解、障害の原因となるおもな疾患についてテキストをよく読む。からだのしくみを予習しておく。	90分
	【復習】身体障害その他の障害のある人の心理面・生活面から障害の特性に応じた支援を考え資料・ノートを整理する。	90分
第6回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第3節視覚障害のある人の理解	
	【予習】眼のしくみについて調べておく。	90分
	【復習】視覚障害のある人の心理面・生活面から障害の特性に応じた支援を考え資料・ノートを整理する。	90分
第7回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第4節聴覚・言語障害の種類、原因、身体的・心理的・社会的側面の特性をとらえ、支援方法を理解する。	
	【予習】聴覚・言語障害の原因・種類、特性についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。	90分
	【復習】聴覚・言語障害のある人の特性を踏まえ、支援方法について資料・ノートを整理する。	90分
第8回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章5節 重複障害のある人の原因・特性を知り、支援方法を理解する。	
	【予習】視覚障害・重複障害、原因についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。目が見えないことからくる生活の支障を考える。	90分
	【復習】視覚障害、重複障害の特性に応じた支援について、生活上の留意点や制度・社会資源の活用についてまとめ、資料・ノートを整理する。	90分
第9回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第6節内部障害のある人（心臓機能障害）の原因、治療方法、特性を知り、支援方法を理解する。	
	【予習】心臓機能障害の原因、治療方法、特性についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。からだのしくみ心臓の機能について調べる。	90分
	【復習】心臓機能障害のある人の特性と支援方法について資料・ノートを整理する。	90分
第10回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第6節 内部障害のある人（呼吸機能障害）の原因、特性を知り、支援方法を理解する。	
	【予習】呼吸機能障害、原因、特性についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。からだのしくみ呼吸機能を予習する。	90分
	【復習】呼吸機能障害の特性・支援方法について資料・ノートを整理する。	90分

第11回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第6節 内部障害のある人（腎臓機能障害）の原因、治療・管理、特性を知り、支援方法を理解する。	
	【予習】腎臓機能障害の原因、治療・管理、特性についてテキストをよく読み、わからないところを調べておく。	90分
	【復習】腎臓機能障害の特性、支援方法について資料・ノートを整理する。	90分
第12回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第6節 内部障害のある人（膀胱・直腸臓機能障害、小腸機能障害）の症状、特性を知り、支援方法を理解する	
	【予習】膀胱・直腸障害、小腸機能障害の症状、特性についてについてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。	90分
	【復習】膀胱・直腸機能障害、小腸機能障害の特性、支援方法について資料・ノートを整理する。	90分
第13回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 2章第6節 内部障害のある人（HIV・肝臓機能障害）の症状と特性、支援方法について理解する	
	【予習】HIV・肝臓機能障害の症状・特性についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。	90分
	【復習】HIV・肝臓機能障害の特性、支援方法について資料・ノートを整理する。	90分
第14回	障害の医学的・心理的側面の理解と特性に応じた支援 第2章第7節 重症心身障害の特性と生活、支援方法について理解する	
	【予習】重症心身障害の偏印と分類、特性についてテキストをよく読み、わからないことを調べておく。	90分
	【復習】重症心身障害者の特性、支援方法について資料・ノートを整理する。	90分
第15回	まとめ	
	【予習】1回から14回までを振り返り、特に身体に障害のある人のケアについてわからないことを整理してくる。	90分
	【復習】特に身体に障害のある人のケアについてまとめる	90分

授業科目名	社会保障論			科目コード	W121-10				
科目区分	専門科目 - ソーシャルワーク分野 - 人間と社会		担当教員名	小平 達夫					
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	児童家庭福祉論、地域福祉論					
関連科目	介護福祉論、ならびに高齢者福祉論、								
資格等 取得との関連	介護福祉士受験資格、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	わが国の社会保障制度の全体像を学ぶとともに、それがどのように機能し、私たちの暮らしをどう支えているかを理解する。 1 社会保障制度の役割と意義、仕組み 2 介護保険制度、障害者総合支援法など専門領域に関する制度								
学習目標	社会保障制度を構成する社会保険、社会福祉、あるいは社会手当など広く理解を深め、公衆衛生も含めそれぞれの現状と課題までの理解を目指す。								
キーワード	社会保障制度、介護保険、障害者の自立支援、消費者保護法、バリアフリー法								
テキスト・ 参考書等	最新・介護福祉士養成講座2「社会の理解」中央法規出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	社会保障制度ならびに介護実践にかかわる諸制度の知識を身につけている。								
LO-2	人間の尊厳とその人らしい自立した生活を支援するために必要な技術・技能を身につけている。								
LO-3	社会保障制度に関して介護福祉士に求められる思考・判断・表現の能力を身につけている。								
LO-4	人や現代社会の動向に関心を向けることができる。自分のこととして課題に取り組む力を身につけている。人の幸せについて主体的に学び続けることができる。								
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	75					25			100
LO-1	15					5			20
LO-2	15					5			20
LO-3	15					5			20
LO-4	15					5			20
LO-5	15					5			20
備考	・授業態度及び出席回数にて評価								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	社会と生活としくみ (生活を幅広くとらえる、生活の基本機能、ライフスタイルの変化、家族の機能と役割、社会・組織の機能と役割・地域・地域社会等)	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】地域福祉の理念、地域福祉の歴史的展開、地域福祉の充実、災害と地域社会に関して、授業内容をまとめておく。	90分
第2回	地域共生社会の実現に向けた制度や施策 (地域福祉の発展、地域共生社会、地域包括ケア)	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】地域共生社会を目指す社会的背景、地域共生社会の理念、地域共生社会に向けた取り組み、地域包括ケアの理念、地域包括ケアシステムについてまとめておく。	90分
第3回	社会保障制度 (社会保障の基本的な考え方、日本の社会保障制度の発達、日本の社会保障制度のしくみ、現代社会と社会保障制度)	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】社会保障の範囲、社会保障の意義と役割、社会保障の目的と機能、ライフサイクルから見た社会保障についてまとめておく。	90分
第4回	高齢者保健福祉と介護保険制度 (高齢者保健の動向)	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第5回	高齢者保健福祉と介護保険制度 (高齢者保健福祉に関する法体系)	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第6回	高齢者保健福祉と介護保険制度 (介護保険制度)	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第7回	障害者保健福祉と障害者総合支援制度 (障害者保健福祉の動向)	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第8回	障害者保健福祉と障害者総合支援制度 (障害者保健福祉に関する法体系)	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第9回	障害者保健福祉と障害者総合支援制度 (障害者総合支援制度)	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第10回	介護実践にかかわる諸制度 (人々の権利を守る制度・施策)	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分

第11回	介護実践にかかわる諸制度（保健医療に関する制度・施策）	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べてくる。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第12回	介護実践にかかわる諸制度（貧困対策・生活困窮者支援に関する制度・施策）	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べておく。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第13回	介護実践にかかわる諸制度（地域生活を支援する制度・施策）	
	【予習】テキストの該当箇所を読んで、知らない語句については自分でも調べておく。	90分
	【復習】授業での重要用語の復習。	90分
第14回	これまでのまとめと振り返り（第1章～第3章）	
	【予習】第1章～第3章を読んで、理解できなかった箇所を抽出する	90分
	【復習】第1章～第3章を読んで、理解できなかった箇所を理解する	90分
第15回	これまでのまとめと振り返り（第4章～第6章）	
	【予習】第4章～第6章を読んで、理解できなかった箇所を抽出する	90分
	【復習】第4章～第6章を読んで、理解できなかった箇所を理解する	90分

授業科目名	福祉ビジネス			科目コード	W131-10				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野		担当教員名	小平 達夫					
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	福祉ビジネス総合演習、介護事務概論、介護事務演習								
資格等 取得との関連	介護福祉経営士2級								
授業の概要	安定した介護福祉事業経営を実現し、より良質な介護福祉サービスを提供すること、さらに介護保険だけではカバーできない地域ニーズに対応する新しいサービスを開発するなど、介護福祉を基盤とした改革を進めるために、「介護福祉経営士」の合格を目指すものである。								
学習目標	介護福祉経営に関して法制度、財務会計、リスクマネジメント、コンプライアンス、人材育成など多岐にわたる知識が必要となすが、その基本的知識を修得する。								
キーワード	・日本及び海外の介護保険制度・経営の視点から見る介護保険、・人員設備運営基準、介護福祉経営士への期待								
テキスト・ 参考書等	介護福祉経営士テキスト（基礎編）1介護福祉政策概論、4介護福祉の仕組み、介護福祉士養成講座「1、認知症の理解」、「2社会の理解」、「4介護の基本」、「6生活支援技術」、「7生活支援								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護福祉経営士として介護福祉士経営に関する基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	介護福祉経営士として介護福祉士経営に求められる基礎的な技能を身につけている。								
LO-3	介護福祉経営士として介護福祉士経営に関する有効な知識・技術・倫理を統合して課題を解決するための思考・判断・表現の能力を身につけている。								
LO-4	介護福祉経営士として介護福祉士経営においてその動向に関心を向けることができる。福祉ビジネスの視点より人の幸せについて主体的に学び続けることができる。								
LO-5	人種・性別・障害等の有無にかかわらずすべての人を受容し共感できる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			75			25			100
LO-1			15			5			20
LO-2			15			5			20
LO-3			15			5			20
LO-4			15			5			20
LO-5			15			5			20
備考	・毎回の授業の振り返りと出席回数にて評価								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	・介護保険制度の目的と意義（わが国の社会保障、社会保険制度と社会福祉制度、介護保険制度の創設と経緯等）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第2回	・日本と世界の介護保険制度（介護保険制度の国際比較等）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第3回	介護保険制度の状況と改正経緯及び保険者と被保険者	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第4回	保険給付および介護サービス利用	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第5回	介護報酬および一部負担	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第6回	介護サービスの特性（介護保険制度の意義と目的、介護保険サービスの概要等）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第7回	介護サービス事業の基礎知識（介護サービス事業所の要件）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第8回	介護サービス事業の基礎知識（介護サービス事業所の要件）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第9回	介護サービス事業の質の向上と評価	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第10回	介護福祉経営史（民間企業・介護保険制度前後の在宅サービスと施設サービス）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分

第11回	介護福祉関連法規（建物の設備、消防法による防火管理、職員確保および育成、労働基準法等）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第12回	高齢者介護と介護技術の進歩（高齢者介護の今後の展望、リハビリ職、看護師養成について）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第13回	介護福祉倫理学（介護施設経営者に関わる倫理、介護福祉経営士への期待等）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第14回	これまでのまとめ及び復習	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分
第15回	これまでのまとめ及び復習	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	90分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	90分

授業科目名	医療・福祉とICT			科目コード	W131-11				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野	担当教員名	吉牟田 裕						
実務経験									
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	日本語文書処理演習	後継科目	日本語文書処理演習						
関連科目									
資格等 取得との関連	上級ビジネス実務士() ビジネス実務士() 上級情報処理士() 情報処理士() 日商PC検定(文書作成)2級試験								
授業の概要	効果的なビジネス文書について学ぶ。前期での実践的な技能をさらにスキルアップするとともに、企業でのITを利活用できるように応用力を養う。なお、日商PC検定文書作成3級を目指す。								
学習目標	適切なビジネス文書を適切に発信していく技術は、ビジネスパーソンにとって必須であることを理解するとともに、情報を正確に伝える・記録として残すのに必要な文書作成の基本的知識・技術の習得を目標とする。								
キーワード	word、文章作成・編集、表作成、図作成、クリップアート、ワードアート、スマートアート								
テキスト・ 参考書等	よくわかるマスター 日商PC検定試験 文書作成 3級 公式テキスト&問題集 Word 2019/2016対応 (FOM出版)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	Word2016を利用し、目的にあった文書作成と高品質なデザインのビジネス文書作成ができる。								
LO-2									
LO-3	Wordを用いた基本的なビジネス文書を作成することができる。								
LO-4	積極的な学習態度がみられ、予習・復習をしっかりと行うことができる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	100								100
LO-1	80								80
LO-2									
LO-3	10								10
LO-4	10								10
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	日商PC3級 文書作成とはどんな試験か	
	【予習】教科書付録「日商PC検定試験の概要」を読んでおく	20分
	【復習】教科書の「日商PC検定試験の概要」を読む	25分
第2回	ビジネス文書 文書の有用性/ビジネス文書の基本/社内文書 基本的なビジネス文書の作成	
	【予習】教科書の該当部分について復習する。 学習ファイルのアーカイブ fpt1509.zip をダウンロードし、解凍しておく。	20分
	【復習】教科書の該当部分について復習する。	25分
第3回	ビジネス文書 - 社外文書 基本的なビジネス文書の作成 - 作成する文書の確認 / 文章の入力	
	【予習】教科書第1章 社外文書の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第4回	学習ファイル(fpt2010.zip)ダウンロード ビジネス文書のライティング技術 - 日本語の基本 基本的なビジネス文書の作成 - 文書の編集 / 文字の配置 / 文字の装飾 / 文書の保存	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第5回	ビジネス文書のライティング技術 - 文章表現の基本 基本的なビジネス文書の作成 - 確認問題	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第6回	ビジネス文書のライティング技術 - 文章表現の応用 / 文章構成 表のあるビジネス文書の作成 - 表の作成 / 表のレイアウトの変更 / 表の書式設定	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第7回	ビジネス文書のライティング技術 - 敬語 / 確認問題(P.79) ビジネス文書 - 確認問題(P.79) 表のあるビジネス文書の作成 - 確認問題	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】表のあるビジネス文書の作成 - 確認問題	25分
第8回	表のあるビジネス文書の作成 - 確認問題(解説) 電子メールのライティング技術 - 電子メールの基本 / 文例とポイント / 確認問題 図形のあるビジネス文書の作成	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第9回	ビジネス図解の基本 - 図解とは / 図解の基本パターン / 図解の作成方法 / グラフの利用 / 確認問題 図形のあるビジネス文書の作成 確認問題	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第10回	ビジネス文書の管理 - 文書管理の基本 / 文書のライフサイクルと各プロセスの役割 / 確認問題 模擬試験第1回 実技科目	
	【予習】教科書該当部分の予習	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分

第11回	模擬試験第1回 知識科目 模擬試験第2回 実技科目	
	【予習】第1章から第8章までを見直す	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第12回	模擬試験第2回 知識科目 模擬試験第3回 実技科目	
	【予習】第1章から第8章までを見直す	20分
	【復習】教科書第1章 社外文書の復習	25分
第13回	模擬試験第3回 知識科目 日商PC模擬試験（実技） 必要ならダウンロード: 商工会議所 ネット試験システム.exe	
	【予習】第1章から第8章までを見直す	20分
	【復習】模擬試験の復習	25分
第14回	日商PC模擬試験（実技）	
	【予習】第1章から第8章までを見直す	20分
	【復習】模擬試験の復習	25分
第15回	日商PC検定試験 文書作成3級解説	
	【予習】第1章から第8章・模擬試験1～3までを見直す	20分
	【復習】試験結果の反省	25分

授業科目名	インターンシップ			科目コード	W131-20				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野	担当教員名	小平 達夫 吉牟田 裕						
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	介護事務概論	後継科目	医療事務概論						
関連科目									
資格等 取得との関連	メディカルクラーク、ケアクラーク								
授業の概要	医療機関（病院又は診療所）や介護保険関連施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設などで医療事務、介護事務、福祉ビジネス企業の見学及び体験を行う。								
学習目標	医療・介護福祉の現場において医療事務や介護事務、福祉ビジネスなどの仕事を見学し、その業務の一部を体験することによって、医療事務・介護事務の役割及び福祉ビジネス企業を理解するとともに、その仕事に必要な知識・技能・態度を身につけることをねらいとする。								
キーワード	医療機関、介護保険、サービス、請求事務、福祉ビジネス								
テキスト・ 参考書等	インターンシップ手引き								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	医療事務や介護事務の流れや受付業務、保険請求事務のしくみ福祉ビジネスなどに関する基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	診療記録の作成や受付業務などの窓口対応、福祉ビジネスに必要な技能を身につけている。								
LO-3	福祉ビジネス分野で有効な知識・技術・倫理を統合して課題を解決するための思考・判断・表現の能力を身につけている。								
LO-4	人や現代社会の動向に関心を向けることができる。自分のこととして課題に取り組む力を身につけている。人の幸せについて主体的に学び続けることができる。								
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50		25	25			100
LO-1			10		5	5			20
LO-2			10		5	5			20
LO-3			10		5	5			20
LO-4			10		5	5			20
LO-5			10		5	5			20
備考	・ 授業態度及び出席回数にて評価								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	医療事務の流れや受付業務、医療請求事務のしくみなどを理解できる。 ・窓口業務の実際（外来業務、入院業務、会計業務の実際） ・診療録の作成や取扱い	
	【予習】医療事務概論のテキストの該当項目を読んでくる。	70分
	【復習】見学体験したことを振り返る	65分
第2回	医療事務の流れや受付業務、医療請求事務のしくみなどを理解できる。 ・窓口業務の実際（外来業務、入院業務、会計業務の実際） ・診療録の作成や取扱い	
	【予習】医療事務概論テキストの該当箇所を読んでくる。	70分
	【復習】見学体験したことを振り返る。	65分
第3回	介護保険事務の流れや受付業務、介護請求事務のしくみを理解できる。	
	【予習】介護保険制度のサービス内容を調べてくる。	70分
	【復習】見学体験したことを振り返る。	65分
第4回	福祉ビジネス分野の多様なサービスを理解する 福祉用具、販売事業 サービス付高齢者住宅	
	【予習】介護保険制度における福祉用具貸与・購入について調べてくる。	70分
	【復習】見学体験したことを振り返る。	65分
第5回	(1) インターンシップで観察・体験したことをワークシートにまとめる。 (2) 観察・体験したことを発表・意見交換することで、学びを共有する。	
	【予習】4日間の見学体験したことを振り返る。	70分
	【復習】インターンシップ全体を通して、学んだことをまとめる。	65分

授業科目名	介護事務概論			科目コード	W131-30				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野		担当教員名	小平 達夫					
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	介護事務演習					
関連科目	医療事務概論								
資格等 取得との関連	ケアクラーク技能認定試験								
授業の概要	介護福祉に関する組織の中で働く意義、役割を理解し、介護福祉に従事する責務と倫理、介護保険法、老人福祉法に関する法規、規則についての基礎知識を習得する。介護保険制度のしくみやサービス利用、介護給付費の請求に関する知識および技術を習得する。								
学習目標	介護保険制度における介護サービス利用の流れとサービスの種類について説明できる。介護報酬の基本構造およびサービス費用の算定方法を説明できる。介護給付費明細書への記載事項と記載上の留意点を説明できる。ケアワーク資格取得に必要な社会福祉や老人福祉、社会福祉援助技術、薬学一般に関する知識を身につける。								
キーワード	介護保険制度、介護事務、介護報酬								
テキスト・ 参考書等	介護事務講座「社会福祉と人間関係」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	ケアワーク資格取得に必要な社会福祉や老人福祉、社会福祉援助技術、薬学一般に関する知識を身につける。また、介護保険制度のしくみ、介護サービスの種類、介護報酬の基本知識を身につけている。								
LO-2	介護報酬の算定方法の仕組みを説明することができ、介護給付費明細書への記載事項と記載上の留意点を説明できる基礎力を身につけている。								
LO-3	福祉ビジネス分野で有効な知識・技術・倫理を統合して課題を解決するための思考・判断・表現の能力を身につけている。								
LO-4	人や現代社会の動向に関心を向けることができる。自分のこととして課題に取り組む力を身につけている。人の幸せについて主体的に学び続けることができる。								
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			75			25			100
LO-1			15			5			20
LO-2			15			5			20
LO-3			15			5			20
LO-4			15			5			20
LO-5			15			5			20
備考	・ 授業態度及び出席回数にて評価								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護事務職員の仕事	
	【予習】テキスト介護事務講座「社会福祉と人間関係」において該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。	90分
第2回	介護現場での人間関係	
	【予習】テキスト介護事務講座「社会福祉と人間関係」において該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。	90分
第3回	接遇マナー	
	【予習】テキスト介護事務講座「社会福祉と人間関係」において該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。	90分
第4回	社会福祉	
	【予習】テキスト介護事務講座「社会福祉と人間関係」において該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。	90分
第5回	社会福祉	
	【予習】テキスト介護事務講座「社会福祉と人間関係」において該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。	90分
第6回	ソーシャルワーク	
	【予習】テキスト介護事務講座「社会福祉と人間関係」において該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。	90分
第7回	介護概論	
	【予習】テキスト介護事務講座「社会福祉と人間関係」において該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。	90分
第8回	介護概論	
	【予習】テキスト介護事務講座「社会福祉と人間関係」において該当箇所の分からない用語を調べて、授業に臨む。	90分
	【復習】本時で学習した内容を振り返る。	90分

授業科目名	介護事務演習			科目コード	W131-31				
科目区分	専門科目 - 福祉ビジネス分野	担当教員名	松島 紘子 小平 達夫						
実務経験									
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目	インターシップ						
関連科目	介護事務概論、福祉ビジネス、福祉ビジネス総合演習								
資格等 取得との関連	ケアクラーク技能認定試験								
授業の概要	介護報酬請求の仕組みと算定方法を基礎から学習し、報酬明細書(レセプト)の書き方、制度の理解とその運用について習得を図る。								
学習目標	ケアプランの記載事項を把握できるようにする。 ケアプランから介護報酬明細書(レセプト)が作成できるようにする。								
キーワード	介護事務、レセプト、介護報酬(加算・減算含む)								
テキスト・ 参考書等	介護事務講座 介護保険請求事務テキスト1 社会福祉と人間関係テキスト2 介護保険請求実務別冊(ニチイ学館)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護事務に必要な介護報酬の知識を身につけている。								
LO-2	窓口対応に必要な接遇や介護報酬請求業務に必要な技術を身につけている。								
LO-3	多職種連携チームの一員として、介護経営の視点から介護報酬について考える力を身につけている。								
LO-4	介護業界の動向に関心を向け、主体的に学び続けることができる。								
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			75			25			100
LO-1			15			5			20
LO-2			15			5			20
LO-3			15			5			20
LO-4			15			5			20
LO-5			15			5			20
備考	小テスト等にて評価								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護保険制度(1) 介護保険法(2) 介護保険制度の仕組み(3) 要介護認定から介護サービス計画書の作成まで(4) 介護支援専門員(5) 予防給付費・介護給付費の算定	
	【予習】介護保険制度について理解してくる。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第2回	介護事務業務(1) 介護事務職員の役割(2) 介護報酬請求業務(3) 指定申請事務(4) 介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱い	
	【予習】介護事務について理解してくる。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第3回	介護報酬請求事務(1) 居宅サービス介護給付明細書の作成(2) 施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】介護報酬について理解してくる。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第4回	介護報酬請求事務(1) 居宅サービス介護給付明細書の作成(2) 施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第5回	介護報酬請求事務(1) 居宅サービス介護給付明細書の作成(2) 施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第6回	介護報酬請求事務(1) 居宅サービス介護給付明細書の作成(2) 施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第7回	介護報酬請求事務(1) 居宅サービス介護給付明細書の作成(2) 施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第8回	介護報酬請求事務(1) 居宅サービス介護給付明細書の作成(2) 施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第9回	介護報酬請求事務(1) 居宅サービス介護給付明細書の作成(2) 施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第10回	介護報酬請求事務(1) 居宅サービス介護給付明細書の作成(2) 施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分

第11回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第12回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第13回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第14回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第15回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第16回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第17回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第18回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第19回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第20回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分

第21回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第22回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第23回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第24回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第25回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第26回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第27回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第28回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第29回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分
第30回	介護報酬請求事務（1）居宅サービス介護給付明細書の作成（2）施設サービス等介護給付費明細書の作成	
	【予習】前回の明細書作成にて理解できなかった箇所を理解して、授業に臨むこと。	45分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	45分

授業科目名	福祉ビジネス総合演習			科目コード	W141-10				
科目区分	専門科目 - キャリア支援		担当教員名	小平 達夫					
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	インターシップ、医療事務概論、医療事務演習					
関連科目	福祉ビジネス、介護事務概論、介護事務演習								
資格等 取得との関連	介護福祉経営士2級								
授業の概要	安定した介護福祉事業経営を実現し、より良質な介護福祉サービスを提供すること、さらに介護保険だけではカバーできない地域ニーズに対応する新しいサービスを開発するなど、介護福祉を基盤とした改革を進めるために、「介護福祉経営士」の合格を目指すものである。								
学習目標	介護福祉経営に関して法制度、財務会計、リスクマネジメント、コンプライアンス、人材育成など多岐にわたる知識が必要となすが、その基本的知識を修得する。								
キーワード	・医療の理解、高齢者の医療と健康、実施指導、監査、多様化するサービス、保険外収入等								
テキスト・ 参考書等	介護福祉経営士テキスト（基礎編）1 医療を知る、3 介護福祉産業論 介護福祉士養成講座「2 社会の理解」、「3 介護の基本1」、「4 介護の基本」、「6 生活支援技術」、								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	介護福祉経営士として介護福祉士経営に関する基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	介護福祉経営士として介護福祉士経営に求められる基礎的な技能を身につけている。								
LO-3	介護福祉経営士として介護福祉士経営に関する有効な知識・技術・倫理を統合して課題を解決するための思考・判断・表現の能力を身につけている。								
LO-4	介護福祉経営士として介護福祉士経営においてその動向に関心を向けることができる。福祉ビジネスの視点より人の幸せについて主体的に学び続けることができる。								
LO-5	人種・性別・障害等の有無にかかわらずすべての人を受容し共感できる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			75			25			100
LO-1			15			5			20
LO-2			15			5			20
LO-3			15			5			20
LO-4			15			5			20
LO-5			15			5			20
備考	・毎回の授業の振り返りと出席回数にて評価								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	医療のあらまし（国民生活と社会保障、日本における医療の歴史）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分
第2回	医療のあらまし（医療保険制度のあらましとしくみ、医療保険制度と介護保険制度の関連性と相違点）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分
第3回	医療に関連する法制度（医療法規の概要、医療法）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分
第4回	医療に関連する法制度（医療従事者に関する法規、医療保険制度に関する法規、薬事関係法規）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分
第5回	医療専門職の役割	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分
第6回	医療専門職の役割	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分
第7回	超高齢化社会における高齢者の医療と健康（高齢者の定義と日本の高齢化、高齢者の健康、高齢者の死亡原因、高齢者の身体的変化と疾患）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分
第8回	超高齢化社会における高齢者の医療と健康（高齢者の自覚症状と疾患の特徴、認知症、リハビリテーションと老年スポーツ医学、ターミナルケア）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分
第9回	介護サービスと福祉（経営上のジレンマ、介護経営者としての視点）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分
第10回	民営化が導いた「経営」（競争がもたらした経営等）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分

第11回	特別養護老人ホームの経営課題（特別養護老人ホームの経営状況、収益構造、コスト構造）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分
第12回	特別養護老人ホームの経営課題（サービスマネジメント、リスクマネジメント、ユニットケアと個別ケア、ターミナルケア）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分
第13回	有料老人ホームの経営（有料老人ホームとは、設立、有料老人ホームの現場）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分
第14回	有料老人ホームの経営（有料老人ホームの展望、要望）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分
第15回	小規模介護事業所の経営（介護サービスの担い手としての小規模介護事業所）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分
第16回	小規模介護事業所の経営（小規模介護事業所の経営、小規模介護事業所の今後の課題）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分
第17回	地域密着型サービスの課題（地域密着サービスとは、小規模居宅介護とは）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分
第18回	多様化するビジネスモデル（新しい制度でのサービス）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分
第19回	多様化するビジネスモデル（既存サービスと組み合わせたサービス）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分
第20回	地方の介護事業所の状況（地方の介護事業所の状況、変容する地域ニーズが求めるサービス）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分

第21回	地方の介護事業所の状況（事例紹介、地域を支える介護サービスの安定的供給と多職種との有機的連携）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分
第22回	介護産業の見通しと経営（高齢者というマーケット、介護市場と関連領域の拡大）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分
第23回	介護産業の見通しと経営（介護サービスの経営）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分
第24回	多様化する福祉サービス（利用者の多様化するサービス、多様化する利用者サービスのタイプ）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分
第25回	多様化する福祉サービス（多様なサービスと持続的競争優位）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分
第26回	今後の介護福祉サービス（保険外収入の増加で経営改善を図る）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分
第27回	今後の介護福祉サービス（保管外収入の可能性等）	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分
第28回	これまでのまとめと振り返り	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分
第29回	これまでのまとめと振り返り	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分
第30回	これまでのまとめと振り返り	
	【予習】該当テキストを事前に読んで分からない用語を調べておくこと。	45分
	【復習】本日のテキストの内容を確認し、知識の定着を図る。	45分

授業科目名	キャリアデザイン演習			科目コード	W141-20				
科目区分	専門科目 - キャリア支援	担当教員名	小平 達夫 関 好博 井上 理絵						
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	1年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	職業人として知識・技術・熱意の3条件が必要です。知識については、社会経験で培われた実践的	後継科目	なし						
関連科目									
資格等 取得との関連	卒業要件に係る資格取得全て								
授業の概要	自分は何をしたいのか、どのような仕事をしたいのか、将来なりたい自分に向けてキャリアプランを描きます。また、仕事をするうえで必要な社会人基礎力を理解し、社会での活用を目指す。また自分のキャリア形成の幅を広げるために社会福祉分野、介護分野、ビジネス分野より自分の進路を考える。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の将来設計（ライフプラン）を考え、明らかにする。 2. 自分自身を分析し、特別講座をとおして、自分に適した仕事・職場を見つける。 3. 社会人としてのマナーを身につける。 4. ビジネス文書について理解を深める。 								
キーワード	キャリアプラン、接遇、ビジネス文書、人間関係、キャリア形成								
テキスト・ 参考書等	ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	社会人としての一般的常識、ルール・マナー等に関する社会人基礎力身につけている。								
LO-2	自分の人生を主体的に捉え、自己実現に向けた表現力を身につけている。								
LO-3	自分人の人生を主体的に捉え、自身の思考力、判断力をもって自分のキャリア形成を行う力を身につけている。								
LO-4	自分人の人生を主体的に捉え、自身のキャリア形成に対して意欲をもって学び続けることができる。								
LO-5	人種、性別、障害等の有無にかかわらずすべての人を受容することができる。多様な主体と連携・協調・協働して行動することができる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			75			25			100
LO-1			15			5			20
LO-2			15			5			20
LO-3			15			5			20
LO-4			15			5			20
LO-5			15			5			20
備考	・ 授業態度及び出席回数								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	キャリアと仕事へのアプローチ（働く意識・仕事への取り組み方・会社の基本とルール）と仕事の基本となる8つの意識（顧客意識・品質意識・納期意識・時間意識・目標意識・協調意識・改善意識・コスト意識）	
	【予習】各種媒体にて、社会で求められる人材について調査する。	30分
	【復習】今後社会で求められる人材について、再度理解を深め、日常生活の中で実践する。	30分
第2回	コミュニケーションとビジネスマナーの基本と指示の受け方と報告・連絡・相談	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第3回	話し方と聞き方のポイントと来客対応と訪問の基本マナー	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第4回	社会における人との付き合い方	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第5回	仕事への取り組み方	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第6回	ビジネス文書の基本	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第7回	介護分野の話 パート1	
	【予習】介護の仕事について調べる	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第8回	介護分野の話 パート2	
	【予習】介護ロボットとICT等、進化する介護について調べる	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第9回	情報収集とメディアの活用	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分
第10回	会社を取り巻く環境と経済の基本	
	【予習】テキストの該当ページを事前に読み、分からない用語を調査しておくこと。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分

第11回	特別講座 学科長講話	
	【予習】自分の興味のある進路先及びその業界について調査してくる。	30分
	【復習】講義内容を振り返る。	30分
第12回	特別講座 福祉分野のキャリアデザインについて	
	【予習】該当分野について調査してくる	30分
	【復習】講義内容を振り返る。	30分
第13回	特別講座 介護分野のキャリアデザインについて	
	【予習】該当分野について調査してくる	30分
	【復習】講義内容を振り返る。	30分
第14回	特別講座 福祉ビジネス分野のキャリアデザインについて	
	【予習】該当分野について調査してくる	30分
	【復習】講義内容を振り返る。	30分
第15回	まとめ	
	【予習】これまでの授業の振り返りをしてくる。	30分
	【復習】授業内容を振り返る。	30分

授業科目名	総合的研究			科目コード	W151-10				
科目区分	専門科目 - 総合支援 - 研究	担当教員名	吉牟田 裕 関 好博						
実務経験									
開講時期	1年後期・2年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	短期大学士（介護福祉学）								
授業の概要	社会福祉、介護福祉および生活福祉についての2年間の学習の中で、各自が触発されたテーマについて、より深く掘り下げた主体的調査研究としておこなうものです。各テーマの専門ごとに専任教員全員が分担して、個別的・継続的に指導し、研究成果をレポートにまとめ、報告会で発表します。								
学習目標	介護福祉専門職として必要な研究態度や自己研鑽・自己啓発の能力を養うこと目的としています。また、高齢者や障害者の介護や、介護福祉士としてのあり方について理解を深めてもらうことを目標としています。								
キーワード	主体的、調査、社会福祉、介護福祉、生活福祉								
テキスト・ 参考書等	総合的研究報告集バックナンバー(学内専用)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	人間の多様な価値観、社会のしくみ、文化を理解し、幅広い教養を習得している。また、社会概念の基礎を理解し、介護実践に必要な専門的知識を習得している。								
LO-2	論文作成・研究発表において、的確に記録・記述することができる方法を身につけている。								
LO-3	福祉分野の諸課題を発見し、研究方法を用いて考察することができる。								
LO-4	社会的状況や福祉の動向などに関心を持ち、自己研鑽・自己啓発能力を身につけている。また、専門職に必要な倫理観に関心をもつことができる。								
LO-5	他者に共感でき、相手の立場に立って考えられる姿勢を身につけている。また、円滑なコミュニケーションの取り方の基本を身につけ、他者と協調、協働して行動することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)				80	10	10			100
LO-1				20					20
LO-2				10	10				20
LO-3				20					20
LO-4				20					20
LO-5				10		10			20
備考	その他Aは、研究を進める際の研究グループ内での協調・協働を評価する								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	全体オリエンテーション(科目の概要説明、グループ分け)	
	【予習】	30分
	【復習】前年度総合的研究報告集の熟読(1)	45分
第2回	分野別オリエンテーション(授業の年間計画の説明、グループ分けの再確認)	
	【予習】	30分
	【復習】前年度総合的研究報告集の熟読(2)	45分
第3回	研究テーマの確定1(分野ごとに希望研究テーマの内容を確認)	
	【予習】研究テーマを考える	45分
	【復習】	30分
第4回	研究テーマの確定2(リーダー、サブリーダー選出、研究テーマとグループを確定)	
	【予習】前年度総合的研究報告集の熟読(3) 研究テーマの深化	45分
	【復習】	30分
第5回	研究テーマの確定3(研究テーマとグループの全体調整)	
	【予習】	30分
	【復習】研究計画の立案準備	45分
第6回	調査研究の方法1(調査方法及びレポート構成の指導・講義)	
	【予習】	30分
	【復習】調査方法及びレポート構成を理解する	45分
第7回	調査研究の方法2(グループ別文献検索指導)	
	【予習】	30分
	【復習】文献検索の方法に習熟する	45分
第8回	研究計画の立案1(先行研究の調査、文献検索)	
	【予習】	30分
	【復習】研究計画の作成1	45分
第9回	研究計画の立案2(先行研究の調査、文献検索)	
	【予習】	30分
	【復習】研究計画の作成2	45分
第10回	調査の準備と実施1(調査準備 学内調査 学外調査、調査開始)	
	【予習】	30分
	【復習】調査の準備または実施	45分

第11回	調査の準備と実施2(調査準備 学内調査 学外調査、調査開始)	
	【予習】	30分
	【復習】 調査の準備または実施	45分
第12回	調査の準備と実施3(調査準備 学内調査 学外調査、調査開始)	
	【予習】	30分
	【復習】 調査の準備または実施	45分
第13回	中間まとめの準備1(中間発表会に掲示するポスター製作準備)	
	【予習】	30分
	【復習】 ポスター作製	45分
第14回	中間まとめの準備2(中間発表会に掲示するポスター製作準備)	
	【予習】	30分
	【復習】 ポスター作製	45分
第15回	中間まとめの準備3(中間発表会に掲示するポスター製作準備)	
	【予習】 中間まとめの資料作成	45分
	【復習】	30分
第16回	中間まとめ	
	【予習】 中間まとめの資料作成	45分
	【復習】	30分
第17回	中間発表の準備1(調査結果の整理と考察)	
	【予習】	30分
	【復習】 調査結果の整理と考察	45分
第18回	中間発表の準備2(調査結果の整理と考察)	
	【予習】	30分
	【復習】 調査結果の整理と考察	45分
第19回	中間発表の準備3(調査結果の整理と考察)	
	【予習】	30分
	【復習】 調査結果の整理と考察	45分
第20回	結果の整理と考察(調査結果の整理と考察、追加調査の実施など)	
	【予習】	30分
	【復習】 調査結果の整理と考察、追加調査の実施など	45分

第21回	記録集の作成 (作成準備ならびに執筆開始)	
	【予習】	30分
	【復習】 記録集作成準備ならびに執筆	45分
第22回	原稿提出 (完成原稿とデータを提出)	
	【予習】 記録集作成準備ならびに執筆	45分
	【復習】	30分
第23回	原稿の校正1	
	【予習】	30分
	【復習】 1校の完了	45分
第24回	原稿の校正2	
	【予習】	30分
	【復習】 2校の完了	45分
第25回	原稿の校正3	
	【予習】	30分
	【復習】 3校の完了	45分
第26回	原稿の校正4	
	【予習】	30分
	【復習】 4校の完了	45分
第27回	発表会の準備1 (発表原稿の準備、使用機材の確認)	
	【予習】	30分
	【復習】 発表の練習	45分
第28回	発表会の準備2 (発表原稿の準備、使用機材の確認)	
	【予習】	30分
	【復習】 発表の練習	45分
第29回	発表会リハーサル	
	【予習】	30分
	【復習】 リハーサルの総括、発表原稿などの改善	30分
第30回	発表会(口頭発表)	
	【予習】 発表の練習	45分
	【復習】	30分

授業科目名	健康福祉論			科目コード	W511-10				
科目区分	教養科目 - 健康		担当教員名	小椋 一也 関 好博					
実務経験	地域密着型通所介護施設による半日型・機能訓練特化型通所介護施設に5年間勤務した実務経験を通し、介護福祉士として従事する者に関わる運動・健康の分野について基礎から応用まで解説する。(小椋)								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	なし		後継科目	運動と健康					
関連科目	健康スポーツ、アクティビティ概論、アクティビティ演習								
資格等 取得との関連	アクティビティワーカー資格の推奨科目								
授業の概要	健康とは何か、そして福祉との関わりとともに、健康支援・介護予防を中心とした福祉の隣接領域とのつながりと福祉・介護の現場や地域の実践的な入口を学ぶ科目です。								
学習目標	健康の定義や生活習慣病対策、介護予防や福祉との関連性、そして健康福祉の動向を広く学びます。それにより、健康福祉の施策の多様性を理解をめざします。 また、今日の我が国における健康づくりの背景や介護予防および福祉との関係を理解できるようにします。								
キーワード	健康支援、介護予防、フレイルとサルコペニア、健康長寿、老年症候群、生活習慣病、感染症、健康増進法								
テキスト・ 参考書等	なし。適宜プリントを配布予定。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】障害を持つ持たないに関わらず、すべての人の健康に関する知識を身に付けている。								
LO-2	【技能】健康への阻害要因を見だし、問題の改善計画を立てる技能を身に付けている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】誰もがいきいきと生きることができる、健康的な暮らしのあり方を考える力を身に付けている。								
LO-4	【関心・意欲・態度】誰もが安心して暮らし続けることのできる社会をつくることへの意欲を身に付けている。								
LO-5	【人間性・社会性】健康な暮らしのために社会的な方策を生み出し、積極的に前向きな社会努力をする人間性を身に付けている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		60				40			100
LO-1		60							60
LO-2						10			10
LO-3						10			10
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	小テスト(60%)、リアクションペーパーや学修意欲、その他による(40%)総合評価です。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 健康、体力とは	
	【予習】健康とはどういう状態を指すか、各々の考えをまとめてくる。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第2回	健康と人口について	
	【予習】日本の人口について調べてくる。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第3回	我が国の寿命と健康寿命について	
	【予習】寿命と健康寿命について調べてくる。	90分
	【復習】授業内容やメモをまとめる。	90分
第4回	体力とは何か、について	
	【予習】中学・高校時の運動能力・体力テストについて調べておく。	90分
	【復習】授業内容・メモ類をまとめる。	90分
第5回	1～4の総括と留意点のまとめ	
	【予習】該当回の配布資料とメモ類をよく読んでおく	90分
	【復習】留意点を整理しておく	90分
第6回	体力トレーニングの種類について	
	【予習】中学や高校時代に行った筋力トレーニングを振り返り、整理しておく。	90分
	【復習】メモをまとめておく。	90分
第7回	介護福祉における自立支援	
	【予習】自立支援とはどういうことか、調べてくる。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第8回	前半のまとめ	
	【予習】これまでの授業をふり返ってくる。	90分
	【復習】レポートをまとめる。	90分
第9回	健康日本21と生活習慣病	
	【予習】健康日本21と生活習慣病について調べてくる。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第10回	がん対策、臓器・造血幹細胞移植体制	
	【予習】がん対策や臓器移植について調べてくる。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分

第11回	結核・感染症施策、エイズ施策	
	【予習】結核・感染症施策、エイズ施策について調べてくる。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第12回	難病対策、薬局	
	【予習】難病対策、薬局について調べてくる。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第13回	高齢者医療制度、医療保険	
	【予習】高齢者医療制度、医療保険について調べてくる。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第14回	地域保健サービス	
	【予習】地域保健サービスについて調べてくる。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第15回	健康増進法	
	【予習】健康増進法について調べてくる。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分

授業科目名	運動と健康			科目コード	W511-20				
科目区分	教養科目 - 健康		担当教員名	小椋 一也					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	健康スポーツ 健康福祉論		後継科目	アクティビティ概論 アクティビティ演習					
関連科目	介護予防論								
資格等 取得との関連	無し								
授業の概要	運動と健康では、学生生活を通し健康・体力を維持するための基礎的な理論とスポーツに関わる諸問題について解説します。また初年次の授業であるためグループワークを通して協調性などを学びます。								
学習目標	現代社会におけるスポーツ・健康に関する問題を捉えることができる。 健康・体力づくりの基本を理解する。 共に豊かに健康的に生きることについて理解し実践できるようにする。								
キーワード	運動、体力、スポーツ、健康、体操プログラム								
テキスト・ 参考書等	なし								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】健康・体力を維持するための運動やスポーツの必要性を理解している。目的にあわせた健康・体力づくりの理論と方法について理解している。								
LO-2	【技能】個人の健康・体力づくりに必要な情報を適切に評価し、自らの健康・体力づくりを行うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】現代的なスポーツ・健康に関する問題を捉え、その実践的な問題解決の方法を主に身体活動・運動の視点から考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】自分のコンディションについての関心を高めさらに維持・向上させようとするすることができる。								
LO-5	【人間性・社会性】グループでのディスカッションなど仲間と共に活動することができる								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		70				30			100
LO-1		20							20
LO-2		30							30
LO-3		20							20
LO-4						15			15
LO-5						15			15
備考	小テストを行う。ミニツペーパーより質問等に答える。 その他：A LO-4・LO-5 課題への取組による関心度から考慮する。授業態度(グループへの関与)の参加度とする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス 基礎実習の体操、介護予防の振り返り	
	【予習】シラバスを見ておくこと	45分
	【復習】授業の概要、評価方法、を整理しておくこと	45分
第2回	健康体操、介護予防運動プログラムの組立ての基本	
	【予習】前回のグループワークの資料を整理しておく	45分
	【復習】個人課題について整理しておく	45分
第3回	健康体操、介護予防運動プログラムの組立て-小GWによる組立て(1)	
	【予習】作成した個人課題を見直し、修正をしておく。	45分
	【復習】素案の小GWのプログラムを整理しておく。必要に応じて写真・動画の記録をする。	45分
第4回	健康体操、介護予防運動プログラムの組立て-小GWによる組立て(2)	
	【予習】作成したプログラムと音源の確認をする。	45分
	【復習】発表したプログラムの修正をする。	45分
第5回	健康体操、介護予防運動プログラムの組立て-小GWによる組立て(3)	
	【予習】作成したプログラムと音源の確認をする。	45分
	【復習】発表したプログラムの修正をする。	45分
第6回	健康体操、介護予防運動プログラムの組立て-全体プログラムの調整・練習	
	【予習】導入 展開 まとめ行程(含、配置や言葉がけ等)を整理しておく。音源の確認をする。	45分
	【復習】助言、意見の出たところを整理し、プログラムに反映しておく。	45分
第7回	フレイルサイクルとサルコペニア(1)	
	【予習】前提科目の配布資料に目を通しておく	45分
	【復習】配布資料とメモを読んでおく	45分
第8回	フレイルサイクルとサルコペニア(2)、小テスト	
	【予習】前回の配布資料をよく読んでおく	45分
	【復習】全ての配布資料をよく読んでおく	45分

授業科目名	健康スポーツ			科目コード	W511-21				
科目区分	教養科目 - 健康		担当教員名	小椋 一也					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	無し		後継科目	アクティビティ概論 アクティビティ演習					
関連科目	運動と健康								
資格等 取得との関連	なし								
授業の概要	健康スポーツとして、生涯にわたり身体を動かすことを楽しみ、学生生活をより健康に生活できるようになるための授業を行う。ネット型のボールゲームを中心にレクリエーションスポーツを主に行う。またストレッチやヨガを実践し心地よさを感じるようなプログラムを実践する。								
学習目標	スポーツやそのほかの運動を通じて、楽しさや体を動かす心地よさを感じられるようにする。スポーツや運動を授業だけではなく学生時代の一部として取り入れ、生涯の健康づくりに運動を嗜む意識を身に付けましょう。								
キーワード	心地よさ 運動の機会 健康づくり レクリエーション ゲーム								
テキスト・ 参考書等	特に定めなし。適宜参考を紹介する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】健康が活動の土台であることを理解し、自ら健康の維持・向上に努めようとする。身体への適切な負荷のかけ方や自身の身体への対話方法を見つけるように努める。								
LO-2	【技能】ボールや用具の使い方において基本的な技術を身につける。自分に合った運動強度を知りその維持・向上に努める。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】チームプレーでの課題を見出しその解決に努められるようにする。苦手な運動要素についてその課題を克服できるような方法を知る。								
LO-4	【関心・意欲・態度】自分の身体を知り維持・向上させることにより自己肯定感が高まる。仲間とともに活動することにより互いを認め合い粘り強く取り組めるようになる。								
LO-5	【人間性・社会性】健全な友達関係を構築し、その他の授業においても互いに尊重し合う活動できるようにする。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						10			10
LO-2						50			50
LO-3						5			5
LO-4						5			5
LO-5						30			30
備考	その他Aについて：LO1.5は、ミニッツペーパー及び活動の状況を見て総合的に判断する。LO3.4は、チームプレーでの勝敗や活動の主体性を見て判断する。LO2は、ボール操作技術、基礎的な運動についての能力向上の状態を見て評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 座位による四肢・体幹の体操と脳トレ 地域と関る健康運動	
	【予習】体育館の場所、ロッカー、更衣室、健康支援センターの場所を確認すること	20分
	【復習】学生のしおりとシラバスを確認する	25分
第2回	ストレッチングの導入、ペアワーク、グループレクワーク	
	【予習】内履きシューズ、運動着を準備しておく。コンディションを整えておく	20分
	【復習】振り返り復習すること。	25分
第3回	ネット型ボールゲームの実践 - ソフトバレーボールの基本、アレンジルールでの試しのゲーム	
	【予習】チームを作るので、メンバーを確認しておくこと	20分
	【復習】振り返り復習すること。	25分
第4回	ヨガ教室	
	【予習】ヨガの目的と効果について調べておく。ヨガマットまたは身長大のバスタオルを準備する。	20分
	【復習】インストラクターよりの説明をノートに整理する。ポーズを自宅で復習する。	25分
第5回	ネット型ボールゲームの実践 - ソフトバレーボールの基本とアレンジルールの振り返り リーグ戦	
	【予習】チーム対抗戦の実施予定 ルールの確認をしておく	20分
	【復習】チームのメンバーと次回に向けたミニ・ミーティングをし、各班でメモをし共有する。	25分
第6回	ネット型ボールゲームの実践 - バレーボールの進め方の確認と練習試合	
	【予習】チーム対抗戦のため、メンバーを確認しておくこと	20分
	【復習】振り返り復習すること。	25分
第7回	ネット型ボールゲームの実践 - バレーボールの応用練習 対抗戦	
	【予習】チーム対抗戦のため、メンバーを確認しておくこと	20分
	【復習】振り返り復習すること。	25分
第8回	ゴール型ボールゲームの実践 - バスケットボールの進め方の確認と試合	
	【予習】チーム対抗戦のため、メンバーを確認しておくこと 走る種目であるので、足腰のコンディションを整えておくこと	20分
	【復習】振り返り復習すること。	25分
第9回	ストレッチと体操で体づくり実践	
	【予習】体力の要素について調べておく	20分
	【復習】体力の要素についておさらいしておくこと	25分
第10回	バドミントン 基本の打ち方 ゲーム(シングル)の進め方の確認と練習	
	【予習】バドミントンについて興味をもって歴史やゲーム方法を調べる	20分
	【復習】振り返り復習すること。	25分

第11回	バドミントン ゲーム(シングル)の応用練習 ゲーム(シングル)の実践	
	【予習】様々な打ち方とその方法を調べておく。	20分
	【復習】振り返り復習すること。	25分
第12回	バドミントン ゲーム(ダブルス)の進め方の確認と練習	
	【予習】ダブルスのゲームの進め方を予習しておくこと	20分
	【復習】振り返り復習すること。	25分
第13回	バドミントン ゲーム(ダブルス)の応用練習 ゲーム(ダブルス)の実践	
	【予習】振り返り。	20分
	【復習】振り返り復習すること。	25分
第14回	バドミントン テストマッチ 小テスト	
	【予習】基本の打ち方と試合方法を整理・練習しておく	20分
	【復習】振り返り復習すること。	25分
第15回	レクリエーションスポーツの実践	
	【予習】グループ対抗戦のため、チームメンバーを確認しておくこと	20分
	【復習】振り返り復習すること。	25分

授業科目名	コミュニケーション論			科目コード	W521-20				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	小平 達夫					
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	コミュニケーション技術 ・								
資格等 取得との関連	介護職員初任者研修、介護福祉士指定科目								
授業の概要	自己理解、他者理解をもとに対人関係とコミュニケーションについて理解する。また、コミュニケーションの技法の基礎を学び、組織におけるコミュニケーションについて理解する。								
学習目標	対人援助に必要な人間の関係性を理解し、関係形成に必要なコミュニケーションの基礎的な知識を習得する。								
キーワード	自己覚知、他者理解、ラポール、自己開示、パーソナリティ、グループダイナミックス、アサーティブネス、ポライトネス、パーソナルスペース、バリエーションの原則、マイクロカウンセリング、感情の転移、容、共感、傾聴、言語的コミュニケーション								
テキスト・ 参考書等	最新 介護福祉士養成講座 1 人間の理解								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】人間関係を形成するために必要な心理学的支援を踏まえたコミュニケーションの意義や機能を理解できている。								
LO-2	【技能】コミュニケーション技法の基礎を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】介護実践を支える教養を高め、総合的な判断力等を備えている。								
LO-4	【関心・意欲・態度】対象者の生活を地域の中で支えていく観点から、地域社会における生活とその支援についての基礎的な知識を身につけることへ関心や意欲を有している。								
LO-5	【人間性・社会性】福祉の理念を理解し、尊厳の保持や権利擁護の視点及び専門職としての基盤となる倫理観を備えている。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		25			25			100
LO-1	10		5			5			20
LO-2	10		5			5			20
LO-3	10		5			5			20
LO-4	10		5			5			20
LO-5	10		5			5			20
備考	・ 授業態度及び出席回数にて評価								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	人間関係と心理	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第2回	コミュニケーションの仕組み	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第3回	コミュニケーションの概念とコミュニケーションの基本構造	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第4回	コミュニケーションの手段とスキル	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第5回	対人援助の基本となる人間関係とコミュニケーション	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第6回	対人援助における基本的態度	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第7回	援助的人間関係の形成とバイステックの7つの原則	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第8回	組織の条件とコミュニケーションの特徴、組織における情報の流れ	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第9回	組織において求められるコミュニケーション	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第10回	言語的コミュニケーション	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分

第11回	非言語的コミュニケーション	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第12回	コミュニケーションを促す環境と役立つ技法	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第13回	後輩職員との人間関係とコミュニケーション	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第14回	同僚や他職種との人間関係とコミュニケーション	
	【予習】テキストの該当ページを読んでくる。	90分
	【復習】授業のふり返りをノートにまとめる。	90分
第15回	まとめ	
	【予習】これまでの授業をふり返ってくる。	90分
	【復習】ノートの整理をとおして授業で学んだことをまとめる。	90分

授業科目名	チームマネジメントの基礎			科目コード	W521-21				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	小平 達夫					
実務経験	地方銀行、教育機関、医療・介護業界にて通算26年間の勤務経験を活かし、経営、組織運営、人的資源管理等についてビジネス分野の基礎から応用まで解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	コミュニケーション論、コミュニケーション技術I、コミュニケーション技術								
資格等 取得との関連	介護福祉士指定科目								
授業の概要	ヒューマンサービスとしての介護サービスの特徴を踏まえ、チーム運営の基本や人材育成の管理法の基礎を学ぶ。								
学習目標	介護の質を高めるために必要な、チームマネジメントの基礎的な知識を理解し、チームで働くための能力を養う学習とする。								
キーワード	チームマネジメント、リーダーシップ、フォロワーシップ、キャリア形成、キャリア開発、組織運営、組織管理								
テキスト・ 参考書等	人間の理解（中央法規）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	チームマネジメントの概念の理解と実践のために、人間理解のための認知世界や自己覚知などの理解と、さまざまな視点から見た人間関係や、コミュニケーションの定義・環境・技法の知識を身につけている。								
LO-2	チームマネジメントに対し、基礎的な運営するための技術・技能を身につけている。								
LO-3	チームマネジメントを通して課題を解決するための思考力・判断力を身につけている。								
LO-4	リーダーシップを発揮するために主体的に継続的に学び続けることができる。								
LO-5	人種・性別・障害等の有無にかかわらずすべての人を受容し共感することができる。多様な主体と連携・協調できる健全で豊かな人間力を身につけている。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			75			25			100
LO-1			15			5			20
LO-2			15			5			20
LO-3			15			5			20
LO-4			15			5			20
LO-5			15			5			20
備考	・ 授業態度及び出席回数にて評価								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	介護サービスの特性と求められるマネジメント（介護サービスと他サービスとの相違点）	
	【予習】マネジメントについて理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第2回	組織と運営管理（福祉サービスの組織の機能と役割、組織の構造と管理、コンプライアンスの遵守）	
	【予習】コンプライアンスについて理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第3回	チーム運営の基本（チームの機能と構成、リーダーシップ・フォロワーシップ、リーダーの機能と役割、業務課題の発見と解決の過程）	
	【予習】リーダーシップとフォロワーシップについて理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第4回	人材の育成と管理（人材育成の方法系、モチベーションマネジメント）	
	【予習】モチベーションと職務満足について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第5回	ヒューマンサービスとしての介護サービス	
	【予習】介護サービスのヒューマンサービスについて理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第6回	介護現場で求められるチームマネジメント、介護実践におけるチームマネジメントの取り組み	
	【予習】多職種連携について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第7回	ケアを展開するために必要なチームとその取り組み	
	【予習】介護現場での考えられる職種について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第8回	チームでケアを展開するためのマネジメント	
	【予習】多職種の職種と役割について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第9回	チームの力を最大化するためのマネジメント	
	【予習】リーダーシップの種類について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第10回	介護福祉職のキャリアと求められる実践力	
	【予習】キャリアの定義について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分

第11回	介護福祉職としてのキャリアデザイン	
	【予習】自己啓発について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第12回	介護福祉職のキャリア支援・開発	
	【予習】自分のキャリア・職業人生について考えてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第13回	介護サービスを支える組織の構造	
	【予習】報告・連絡・相談の機能について考えてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第14回	介護サービスを支える組織の機能と役割	
	【予習】組織の階層構造、職種・職位、組織図について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分
第15回	介護サービスを支える組織の管理	
	【予習】介護現場での委員会と労務管理について理解を深めてくる。	90分
	【復習】授業内容の振り返りをする。	90分

授業科目名	生活と情報			科目コード	W521-30				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	吉牟田 裕					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目									
資格等 取得との関連									
授業の概要	情報システムの基礎について学ぶとともに、情報伝達や情報活用に関する技能を習得します。具体的には、ワープロや表計算、プレゼンテーションと、情報社会を生きるためのセキュリティの知識とモラルについても身につけることを目指します。								
学習目標	Windows、インターネット、オフィスツールの基本操作方法を習得するとともに、情報を取り扱ううえで必要なセキュリティと情報モラルを身につけます。								
キーワード	パソコン、ワープロ、表計算、プレゼンテーション、インターネット								
テキスト・ 参考書等	「イチからしっかり学ぶ! Office 基礎と情報モラル」noa出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	パソコン操作とセキュリティに関する基礎知識を身につける。								
LO-2	パソコンにより、効率的なドキュメント・スプレッドシートを作成し、プレゼンテーションをすることができる。								
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20		60	20				100
LO-1		20							20
LO-2				60	20				80
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考									

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業の進め方、学習の目標、 パソコン教室の使い方、タッチタイピング	
	【予習】	0分
	【復習】タッチタイピングの練習 及第点「単語練習」の最高点×0.6で評価する。	45分
第2回	Section2 Step1 Lesson3 文章を入力しよう Section2 Step2 Lesson1 チラシを作成しましょう(1)	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第3回	Section2 Step2 Lesson1 チラシを作成しましょう(2)	
	【予習】	0分
	【復習】練習7	45分
第4回	Section2 Step2 Lesson2 レポートに必要な機能を学びましょう(1)	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第5回	Section2 Step2 Lesson2 レポートに必要な機能を学びましょう(2)	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分
第6回	Section2 Step2 Lesson2 レポートに必要な機能を学びましょう(3) 練習問題	
	【予習】	0分
	【復習】練習8	45分
第7回	Section3 Step2 Lesson1/2 表を作成しましょう/印刷しましょう	
	【予習】	0分
	【復習】練習9	45分
第8回	Section3 Step2 Lesson3 計算しましょう(1)	
	【予習】	0分
	【復習】練習13 練習14	45分
第9回	Section3 Step2 Lesson3 計算しましょう(2)	
	【予習】	0分
	【復習】練習16	45分
第10回	Section3 Step3 グラフを作成しましょう(1)	
	【予習】	0分
	【復習】練習17 練習18	45分

第11回	Section3 Step3 グラフを作成しましょう(2)	
	【予習】	0分
	【復習】練習19 練習20	0分
第12回	Section4 Step2 Lesson1 スライドを作成しましょう	
	【予習】	0分
	【復習】練習22	45分
第13回	Section4 Step2 Lesson2 効果をつけましょう Section4 Step3 発表しましょう	
	【予習】	0分
	【復習】練習23	45分
第14回	Section5 Step1 セキュリティを高めましょう	
	【予習】	0分
	【復習】練習25 練習26 練習27	45分
第15回	Section5 Step1 情報モラルを学びましょう	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	45分
	【復習】	0分

授業科目名	ボランティア演習			科目コード	W521-40				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	関 好博					
実務経験	高岡市社会福祉協議会に17年間勤務。ボランティア活動や福祉教育、地域福祉活動の担当を歴任。事業部門一筋で積み重ねてきた経験と知識を、他の高齢者福祉論や障害者福祉論、ボランティア演習等でも生かしていきたい。								
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	地域福祉論 、					
関連科目	社会保障論、高齢者福祉論、障害者福祉論								
資格等 取得との関連									
授業の概要	テキストを毎回一章ごと進めていながら、解説の後に演習をおこない、学習を深められるようにしていきます。演習では全員に意見や考えの発表を求めます。学校休業日におけるボランティア体験を、Web「ボランティア手帳」を活用し、前期末となる7月末までに1回以上参加して、感想をレポートにまとめることを課題とします。(感染症の拡大状況によっては課題を変更します)								
学習目標	ボランティア全般について学ぶとともに、ボランティア体験学習を通じて市民としての生き方について考え、現代社会の問題解決力と社会を見つめる感性を高めることをねらいとします。								
キーワード	ボランティアコーディネーター、企業の社会貢献活動、災害救援ボランティア、福祉教育、施設ボランティア								
テキスト・ 参考書等	「初めて学ぶ地域ボランティア活動」小倉常明・松藤和生 著 KT福祉研究所								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	ボランティア活動の理念や法制度、社会の変化とこれまでの動き、そしてこれからのあり方などを理解するとともに、関係機関の働きや私たちがなすべきことなどについて、理解することができる。								
LO-2	ボランティア活動の場面で相手の自立支援に向けた関わり方をするための技術や技能を身につけている。								
LO-3	ボランティアとはどういう行為なのか考え、その場にふさわしい行動をとれる。また、言葉でも表現できる。								
LO-4	自ら積極的にボランティア活動に関して調べて、自分なりに思いを深めるなどの取組みができています。								
LO-5	市民社会における主体的な取り組みの意義を理解し、多様な活動に共感できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			90			10			100
LO-1			20						20
LO-2			20						20
LO-3			10			10			20
LO-4			20						20
LO-5			20						20
備考	富山県障害者スポーツ大会の陸上競技会に毎年1年生全員で補助スタッフとして参加しています。令和4年度は5月22日(日)、富山県総合運動公園の陸上競技場で予定されています。授業2コマに読み替えます。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ボランティア活動の定義や特徴・性格などについて正しく理解する。	
	【予習】テキスト第1章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	45分
	【復習】ボランティアという言葉の意味や類似の用語の意味との違いを説明できるようにまとめる。	45分
第2回	ボランティア活動の理念について理解する。	
	【予習】テキスト第2章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	45分
	【復習】ボランティア手帳で最近のボランティア活動の傾向を調べてみる。	45分
第3回	ボランティア活動の歴史について理解する。	
	【予習】テキスト第3章を読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	45分
	【復習】インターネットで日本における篤志家の活動を探し、それぞれの趣旨や目的などを把握しておく。	45分
第4回	ボランティアに関する法と制度を学ぶ。	
	【予習】富山県民ボランティア総合支援センターのホームページで、県内のNPO法人の登録状況を見てくる。	45分
	【復習】ボランティア活動を支援する法と制度をまとめてみる。	45分
第5回	ボランティアの関係機関について理解する	
	【予習】テキスト第5章を読んで、住所地の社会福祉協議会についてホームページで確認する。	45分
	【復習】リスクマネジメントの大切さについてふり返しをする。	45分
第6回	障害者スポーツ大会に参加（実地体験）	
	【予習】富山県総合運動公園の場所と移動手段について調べておく。	45分
	【復習】感想をボランティア手帳に記す。	45分
第7回	障害者スポーツ大会に参加（実地体験） 2コマ分	
	【予習】プログラムと活動マニュアルに目を通してくる。	90分
	【復習】感想をボランティア手帳に記す。	90分
第8回	ボランティア活動の担い手について理解する。	
	【予習】自分の住んでいる自治体にどのような行政委嘱ボランティアがあるかを確認してくる。	45分
	【復習】行政委嘱ボランティアの長所と短所をまとめる。	45分
第9回	第7章の地域社会とボランティアについて理解する。	
	【予習】地元の社協の広報誌を読んで、どんな人や団体がどんなボランティアに参加しているかを押さえてくる。	45分
	【復習】身近な地域でのボランティア活動の様子を調べてまとめる。	45分
第10回	社会福祉施設とボランティアの関りを学ぶ	
	【予習】テキストを読んで、福祉施設におけるボランティアの存在意義や役割を理解する。	45分
	【復習】身近な施設で行われているボランティア活動を調べてまとめておく。	45分

第11回	福祉施設とボランティア活動との関わりについて理解する。	
	【予習】テキストを読んで、関心を持った点や気になったことがあれば、各自で調べてくる。	45分
	【復習】施設にボランティアに行った際には、どのような職員が担当し、どのような受入がなされ、ほかにどんな活動を受け入れているかなどをできるだけ見てくる。	45分
第12回	災害支援とボランティア活動との関わりについて理解する。	
	【予習】テキストを読んで、過去の自然災害などでのボランティア活動の様子を各自で調べてくる。	45分
	【復習】東日本大震災や阪神淡路大震災など、これまでの災害救援ボランティア活動の様子を、本やインターネットで確認しておく。	45分
第13回	企業の地域貢献とボランティア活動との関わりについて理解する。	
	【予習】経団連のホームページで、どこの企業がどのような取組みをしているか各自で調べてくる。	45分
	【復習】企業市民活動ともCSR活動とも言われる社会貢献活動が果たす役割をまとめる。	45分
第14回	国際的なボランティア活動について学ぶ。	
	【予習】収集ボランティア活動について、各自で調べてくる。	45分
	【復習】NGO団体による収集ボランティアの様子を整理する。	45分
第15回	ボランティアコーディネートについて学ぶ。	
	【予習】ボランティアサポーターやアドバイザー制度について調べてくる。	45分
	【復習】ボランティアコーディネーターが果たす役割についてまとめてみる。	45分

授業科目名	教養演習			科目コード	W521-50				
科目区分	教養科目 - 人間と社会		担当教員名	吉牟田 裕 関 好博					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	総合的研究								
資格等 取得との関連	介護福祉士受験資格								
授業の概要	担当教員ごとに少人数を割り振ってのゼミクラス方式を取り入れての学習を進める。基礎的な学習をまず合同でおこなった後、グループに分かれてそれぞれの設けたテーマでの調査をおこない、その結果をもちよっての発表会を開催する。								
学習目標	学生の自発的・主体的な学習意欲の喚起と、教員やクラスメイトとの交流によるチームワークづくり、さらには短大生として求められる基礎的な国語能力の修得など。								
キーワード	導入教育								
テキスト・ 参考書等	配布資料								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	大学生としての基礎的な国語能力と調査に関する知識を習得している。								
LO-2	読み書きや聴き話し、さらには人前での発表に関する力を修得している。								
LO-3	聴く、話すの両面において、その場にふさわしい態度で演習課題に取り組める。								
LO-4	学習意欲や向上心を持ち、自主的・主体的調査研究に必要な学習態度を身につける。								
LO-5	身近な学生・教員とのコミュニケーション力や人間関係能力を身につける。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			150			30	20		200
LO-1			75			15	10		100
LO-2			15						15
LO-3						15			15
LO-4			30						30
LO-5			30				10		40
備考	LO-5は担当教員による、発表会までの取り組み方での評価をもとにおこなう。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス（教養演習のテーマとねらい、過去の発表の様子など）	
	【予習】	30分
	【復習】 本日の過去の教養演習の発表内容を参考にしつつ、自分の発表内容の題材について考える	60分
第2回	これまでの教養演習の成果物を通じて研究について理解する	
	【予習】	30分
	【復習】 資料	60分
第3回	これまでの教養演習の成果物を通じて研究について理解し、自分の研究のテーマを考える	
	【予習】	30分
	【復習】 資料	60分
第4回	新聞の読み方について学び、自分の興味関心のある記事を見つけ出し次回授業にて発表する	
	【予習】	30分
	【復習】	60分
第5回	前回の授業を受けて各自が調査した内容を発表し意見交換を行う	
	【予習】	30分
	【復習】	60分
第6回	各自の興味関心あるテーマについて意見交換し、各自テーマを決定する。	
	【予習】	30分
	【復習】	60分
第7回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行う	
	【予習】	30分
	【復習】	60分
第8回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行う	
	【予習】	30分
	【復習】	60分
第9回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行う	
	【予習】	30分
	【復習】	60分
第10回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行い、まとめに入る	
	【予習】	30分
	【復習】	60分

第11回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行い、まとめに入る	
	【予習】	30分
	【復習】	60分
第12回	自分の興味のある研究テーマに沿って、担当教員に相談をしながら調査等を行い、まとめに入る	
	【予習】	30分
	【復習】	60分
第13回	調査結果を基にしたグループ発表	
	【予習】	30分
	【復習】	60分
第14回	調査結果を基にした個人発表	
	【予習】	30分
	【復習】	60分
第15回	グループ毎の振り返りとまとめ	
	【予習】	30分
	【復習】	60分

授業科目名	英語			科目コード	W531-10				
科目区分	教養科目 - 外国語		担当教員名	山西 宏明 デイヴィッド・ホーズリー					
実務経験	国際協力機構（JICA）やNGOでの海外駐在経験があり、それらの業務を通じて得られた知識・経験を、英語の授業で還元することを意識して指導を行う。								
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	キャンパス&ホームステイプログラム								
資格等 取得との関連									
授業の概要	山西：英語4技能をフルに活用しながら、人の身体的な特徴、性格、感情や経験などを表現する練習を行います。福祉に関する用語の確認も行います。 Horsley：Lessons are communicative and student-centered. Students often work in pairs or groups of three. Lessons contain a textbook component and a conversation component. The conversation component is at the end of the class and								
学習目標	山西：人に関する様々な英語の「ことば」、「表現」を知ることを通じて、自発的に表現できるようになることを目標とします。 Horsley：Students will use the English they have studied to communicate and express themselves with improved intonation and blending skills.								
キーワード	語彙 文法 日常生活 福祉								
テキスト・ 参考書等	山西/Horsley: Speaking of People, by Peter Vincent, Naoko Nakazato, Alan Meadows, NAN'UN-DO Co., Ltd.								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】英語の基本的な語彙と表現を修得している。								
LO-2	【技能】短くて易しい英語の会話や文章を理解できる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】英文を読み、自分の考えを英語または日本語で表現することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】日常生活や福祉の分野の英語の基本的な語彙と表現に関心を持つことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】日常生活や福祉の分野のトピックで、コミュニケーションをはかる意欲と能力がある。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20				30	20	30	100
LO-1						10		10	20
LO-2		20				10			30
LO-3						10			10
LO-4							10	10	20
LO-5							10	10	20
備考	【授業担当者】前半7回は山西、後半8回はHorsleyが担当します。 【成績評価方法】 山西：								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Text Unit 1: Speaking About Yourself	
	【予習】 Dialogue1-3の音読、Practice1 and 2	60分
	【復習】 授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	60分
第2回	Text Unit 2: What Do You Do?	
	【予習】 Dialogue1-2の音読、Practice1, 2, 7 and 9	60分
	【復習】 授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	60分
第3回	Text Unit 3: What Does He Look Like?	
	【予習】 Dialogue1-2の音読、Practice1, 2 and 3	60分
	【復習】 授業で学んだ語彙や表現の復習をする。授業のパワポ	60分
第4回	Text Unit 4: Where Are You From?	
	【予習】 Dialogue1-3の音読、Practice1, 2 and 5	60分
	【復習】 授業で学んだ語彙や表現の復習をする。授業のパワポ	60分
第5回	Text Unit 5: Likes and Dislikes	
	【予習】 Dialogue1-2の音読、Practice1, 5 and 7	60分
	【復習】 授業で学んだ語彙や表現の復習をする。授業資料	60分
第6回	Text Unit 6: What's She Like?	
	【予習】 Dialogue1-3の音読、Practice1, 2, 3, 4, 5 and 7	60分
	【復習】 授業で学んだ語彙や表現の復習をする。	60分
第7回	確認をテストを実施し、解説を行う。	
	【予習】 筆記試験に向けた学習	180分
	【復習】 筆記試験の見直し	60分
第8回	Text Unit 7: Tell Me About Your Family	
	【予習】	0分
	【復習】	60分
第9回	Text Unit 8: Communication	
	【予習】	0分
	【復習】	60分
第10回	Text Unit 9: How Are You Feeling?	
	【予習】	0分
	【復習】	60分

第11回	Review Units 7-9; Communication Quiz	
	【予習】	0分
	【復習】	60分
第12回	Text Unit 10: Memories	
	【予習】	0分
	【復習】	60分
第13回	Text Unit 11: Talking About Health	
	【予習】	0分
	【復習】	60分
第14回	Text Unit 12: Mindset	
	【予習】	0分
	【復習】	60分
第15回	Review Units 10-12; Communication Quiz	
	【予習】	0分
	【復習】	60分